

平成 29 年度

事業報告

自：平成 29 年 4 月 1 日

至：平成 30 年 3 月 31 日

社会福祉法人 愛隣園

平成 29 年度 社会福祉法人愛隣園 事業報告書

1. 法人の基本理念

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

聖書 ルカによる福音書第 10 章 27 節

2. 総括

当法人の前身である三津キリスト教会付属保育園が昭和 5 年に開園してから 87 年、この間、当法人は、「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」というキリストの精神を基本理念に児童福祉、高齢者福祉の担い手として、地域の皆様と手を携えながら各種の福祉事業を展開してきたところである。

このような中であって、とりわけ、29 年度は、当法人の歩んできた歴史の中で最も大きなターニングポイントとなる年であったのではないかと考えている。

まずは、高齢者部門において地域密着型小規模特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム、グループホームなどの事業を展開する高齢者総合福祉施設ガリラヤ久米のオープンがあり、また、保育部門においては、子どもの年齢や保護者の就労状況に応じて多様な支援が用意されている「幼保連携型認定こども園」に移行し、名称も「愛隣こども園」と改称するなど、新たな歩みを始めた年であった。

しかしながら、規模の拡大に伴い、従来の業務体制では対応できない、様々な歪が出てきたことも事実であり、こうした状況を踏まえ、次年度は、厳しい経営環境の中にあっても、当法人が安定した経営が持続でき、また、さらなる発展に向けた取り組みができるよう、業務執行体制の抜本的な見直しが必要と考えている。

3. 事業の概要

事業所名	施設長	所在地	定員
愛隣こども園	羽 藤 美知子	松山市三津三丁目 6 番 3 0 号	66 名
ガリラヤ荘	丹 紀 代	東温市南方 1766-1	特養 80 名、ショート 20 名、デイ 35 名他
ガリラヤ久米	高 橋 雅 志	松山市久米窪田町 6 6 7-1	特養 29 名、ショート 10 名、GH18 名 有料 35 名、デイ 15 名他

4. 理事会・評議員会等開催状況

月 日	事業名	内 容	参加人数	備 考
5月23日	理事会	2017年度(平成29年度)第1回理事会開催 1. 愛隣こども園の防犯カメラ(補助金対象)設置について 2. 報告事項、その他	理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)	ガリラヤ久米
6月7日	監事監査	法人及び施設会計の決算監査	監事2名 (欠席0名)	愛隣こども園 ガリラヤ荘
6月9日	理事会	2017年度(平成29年度)第2回理事会開催 1. 平成28年度事業報告について 2. 平成28年度計算書類(決算報告)について 3. 監査報告について 4. 定款の変更について 5. 諸規定の改正について 6. 定時評議員会の日程及び議案について 7. ガリラヤ久米備品入札、見積結果について 8. 報告事項、その他	理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)	ガリラヤ久米
6月26日	評議員会	2017年度(平成29年度)定時評議員会開催 1. 平成28年度計算書類(決算報告)について 2. 定款の変更について 3. 理事の任期満了に伴う新理事の選任について 4. 監事の任期満了に伴う新監事の選任について 5. 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給基準について 6. 報告事項、その他	評議員7名 (欠席0名) 事務局 理事5名 監事2名	東京第一ホテル ル松山
6月26日	理事会	2017年度(平成29年度)第3回理事会開催 1. 代表理事(理事長)の選定について 2. ガリラヤ久米の借入金について 3. ガリラヤ久米の隣接地の購入について	理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)	東京第一ホテル ル松山
9月26日	理事会	2017年度(平成29年度)第4回理事会開催 1. 諸規程の改正等について 2. 報告事項、その他	理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)	ガリラヤ久米
12月19日	理事会	2017年度(平成29年度)第5回理事会開催 1. 平成29年度松山市指導監査の実施結果及び対応について 2. 諸規程の改正(案)について 3. 運営規程の制定(案)について(ガリラヤ荘) 4. 報告事項、その他	理事6名 (欠席0名) 監事1名 (欠席1名)	ガリラヤ久米
3月22日	理事会	2017年度(平成29年度)第6回理事会開催 1. 平成29年度補正予算(案)について 2. 平成30年度理事長報酬について 3. 平成30年度事業計画(案)について 4. 平成30年度当初予算(案)について 5. 諸規程の改正(案)について 6. 平成29年度第2回評議員会の日程及び議案について 7. 重要な職員の選任について 8. 評議員退任に伴う新評議員の推薦について 9. 報告事項、その他	理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)	ガリラヤ久米

3月26日	評議員選任委員会	2017年度(平成29年度)第1回評議員選任委員会開催 1.評議員の退任に伴う、補欠評議員の選任について	委員4名 (欠席1名) 外部委員	ガリラヤ久米
3月30日	評議員会	2017年度(平成29年度)第2回評議員会開催 1.平成29年度補正予算(案)について 2.役員等報酬規程の改正(案)について 3.平成30年度理事長報酬(案)について 4.平成30年度事業計画(案)について 5.平成30年度当初予算(案)について 6.報告事項、その他	評議員6名 (欠席1名) 事務局 理事5名 監事0名	ガリラヤ久米

5. 事業収支及び資産の状況

(1) 収支の推移

単位：千円

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
サービス活動収益	660,814	679,199	989,376
サービス活動費用	621,124	633,990	1,047,081
サービス活動外収益	3,240	3,862	3,992
サービス活動外費用	9,633	10,350	14,418
経常増減差額	33,297	38,721	△68,131
特別収益	106,970	64,582	177,021
特別費用	137,510	29,357	218,925
特別増減差額	△30,540	35,225	△41,904
当期活動増減差額	2,757	73,946	△110,035

(2) 資産・負債の状況

単位：千円

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
流動資産	667,990	367,233	526,576
固定資産	1,359,426	1,906,464	2,414,995
資産合計	2,027,416	2,273,698	2,941,571
流動負債	283,955	593,463	154,604
固定負債	973,653	838,088	1,876,381
負債合計	1,257,608	1,431,553	2,030,985
純資産	769,808	842,145	910,586

(3) 法人借入金状況

単位：千円

事業所	借入先	利率	期首残高	当期借入額	当期償還額	期末残高
愛隣こども園	福祉医療機構	0.75	140,000	0	0	140,000
	伊予銀行	0.65	33,000	0	950	32,050
	小 計		173,000	0	950	172,050
ガリラヤ荘	福祉医療機構	1.80	63,120	0	5,260	57,860
	伊予銀行	0.40	538,760	0	24,768	513,992
	愛媛銀行	1.00	77,210	0	3,540	73,670
	小 計		679,090	0	33,568	645,522
ガリラヤ久米	福祉医療機構	0.95	0	466,000	0	466,000
	愛媛銀行	0.45	0	600,000	0	600,000
	小 計		0	1,066,000	0	1,066,000
合 計			852,090	1,066,000	34,518	1,883,572

6. 職員配置状況

平成 30 年 3 月 31 日現在

区 分/事業所	愛隣こども園	ガリラヤ荘	ガリラヤ久米	計
正規職員	13 名	67 名	58 名	138 名
準 職 員		54 名	12 名	66 名
臨時/パート職員	10 名			10 名
合 計	23 名	121 名	70 名	214 名

7. 利用者の状況（定員及び年間平均利用人数/1 日）

区 分	愛隣こども園		ガリラヤ荘		ガリラヤ久米	
	定 員	現 員	定 員	現 員	定 員	現 員
乳幼児保育	66 名	70 名				
特養入所			80 名	78 名	29 名	25 名
通所介護			35 名	28 名	15 名	8 名
短期入所			20 名	17 名	10 名	7 名
グループホーム					18 名	16 名
有料老人ホーム					35 名	26 名

8. その他の会議

(1) 建設委員会

月 日	事業名	内 容	参加人数	備 考
4 月 20 日	建設委員会	平成 29 年度 第 1 回 愛隣園 建設委員会 開催 1. ガリラヤ久米 備品購入の入札結果について 2. ガリラヤ久米 新築工事の追加工事費用について 3. ガリラヤ久米 収支見込について 4. ガリラヤ久米 内覧会及び落成式について 5. 愛隣こども園の防犯カメラ設置について 6. 愛隣こども園の隣接地購入条件等について 7. 報告事項	委員 5 名 (欠席 0 名) 佐々木理事長 丹理事 二宮理事 別府理事 田坂評議員	

(2) ガリラヤ久米総合会議

月 日	事業名	内 容	参加人数	備 考
4 月 11 日	総合会議	第 12 回（最終） 総合会議 開催 1. 工事工程報告 2. 近隣からのクレーム等 3. 質疑確認事項 4. 工事内容確認 5. 要望事項の確認	法 人：4 名 新企画：1 名 一 宮：8 名	現場事務所

9. 入札

執行日	事業名	内容	立会人	備考(落札業者)
4月10日	ガリラヤ久米新築工事 カーテン・ブラインド工事	指名競争入札(3社指名)	法人役員4名 法人職員1名	インテリア乗松表具有限公司
4月10日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 医療機器一式納入業務	指名競争入札(3社指名)	法人役員4名 法人職員1名	株式会社よんやく
4月10日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 厨房・食器一式納入業務	指名競争入札(3社指名)	法人役員4名 法人職員1名	株式会社フジマック
4月10日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 厨房・小型調理器具一式納入業務	合い見積もり(3社)	法人役員4名 法人職員1名	株式会社フジマック
4月10日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 複合機(仕様1・仕様2)	合い見積もり(3社)	法人役員4名 法人職員1名	リコージャパン株式会社
4月10日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 介護備品(仕様1・2・消耗品)	合い見積もり(3社)	法人役員4名 法人職員1名	株式会社トーカイ
4月19日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 家具・事務機器等納入業務	指名競争入札(4社指名)	法人役員4名 法人職員1名	えひめ洋紙株式会社
4月19日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 キャビネット(床頭台)納入業務	合い見積もり(2社)	法人役員4名 法人職員1名	パナマウントベット株式会社
4月19日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 チェスト納入業務	合い見積もり(2社)	法人役員4名 法人職員1名	パナマウントベット株式会社
4月24日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 事務用パソコン納入業務	合い見積もり(4社)	法人役員3名 法人職員1名	株式会社ひめぎんソフト
4月24日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 リハビリ機器(デイスアービス用)	総合評価(3社)	法人役員3名 法人職員1名	株式会社ザオバ
4月28日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 ソファ・テーブル納入業務	合い見積もり(2社)	法人役員3名 法人職員1名	えひめ洋紙株式会社
4月28日	ガリラヤ久米新設に伴う備品 ワイズマン専用パソコン納入業務	合い見積もり(3社)	法人役員3名 法人職員1名	リコージャパン株式会社

10. 研修

月日	研修名	主催者	場所	参加者名・役職
10月12日	特別講演会(厚労大臣 塩崎泰久氏)	県老協	メルパルク松山	理事長 佐々木 信也
12月18日	第10回介護保険セミナー	愛媛銀行	愛媛銀行研修会館	理事長 佐々木 信也
12月19日	第3回社会福祉法人セミナー	県社会福祉経営者協議会	県謝意福祉会館	理事長 佐々木 信也
2月16日	魅力ある職場づくり 経験交流会	介護労働安定センター	テクノプラザ愛媛	法人室長 砂子 治幸
2月17日	第37回四国老人福祉学会高知大会	四国老人福祉学会	高知会館	理事長 佐々木 信也
2月23日	中国・四国ブロック定例勉強会	全国社会福祉経営者協議会	国際ホテル松山	理事長 佐々木 信也

2017年度(平成29年度)保育・教育事業(活動)報告

愛隣こども園

1. 保育・教育の目的

キリスト教主義に基づき、松山市より委託された乳幼児を下記の法によって保育、教育を行った。

記:児童福祉法第39条を目的とし、児童福祉施設最低基準
第5章第32条より第36条を遵守した。

2. 29年度の振り返り

- (1) 幼保連携型認定こども園へ移行し、初年度を迎える。事務等がやや煩雑になるが、大きな変化はなく、地域にも保育園から認定こども園へ移行したことが少しずつ浸透している。(29年度は1号の利用者なし)
- (2) 幼保連携型認定こども園に移行したことにより、地域子育て支援センターを開設する。
地域交流室や園庭の開放、給食の試食会、親子で製作など毎月いろいろ計画し、地域の親子に環境や活動を提供することができた。また、園児とも交流したり、実際に保育、教育に触れることで一時保育の利用や入園に繋がった。
- (3) 一時預かり事業が2年目を迎えた。利用者も多く、調整をしつつ、保育を必要とする方々にできるだけ公平に利用してもらえるようにした。(30年度の1号認定の入園に繋がった)
- (4) 通常の保育は各年齢別保育、教育を基本としながら異年齢との交流も大切にしつつ、家庭的な雰囲気与生活できるようにした。

3. 児童数 (別記1)

定員 66名(内1号認定 6名) 現数 73名

(0歳児 8名、1～2歳児 26名、3歳児 13名、4歳以上児 26名)

4. 職員数 (別記2)

園長 1名、保育教諭等 18名(内1名事務兼務)、調理員 3名、事務 1名

5. 保育・教育活動 (別記3)

6. 特別事業の実施状況 (別記4)

- ① 一時預かり事業
- ② 延長保育事業
- ③ 地域子育て支援拠点事業
- ④ 障害児保育事業

7. その他 (別記5)

- ① 食育・アレルギー食について
- ② 感染症・ケガ等について
- ③ 苦情及び苦情解決について
- ④ 研修参加状況について

(別記1) 児童数

平成30年3月31日現在

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	備 考
4月	4	11	12	15	12	14	68	
5月	4	12	12	15	12	14	69	1歳児1名 入園
6月	4	12	12	15	12	14	69	
7月	5	12	12	15	12	14	70	0歳児1名 入園
8月	5	12	12	13	12	14	68	3歳児2名 退園
9月	6	12	12	13	12	14	69	0歳児1名 入園
10月	7	12	12	13	12	14	70	0歳児1名 入園
11月	8	12	12	13	12	14	71	0歳児1名 入園
12月	8	12	12	13	12	14	71	
1月	8	14	12	13	12	14	73	1歳児2名 入園
2月	8	14	12	13	12	14	73	
3月	8	14	12	13	12	14	73	
計	75	149	144	164	144	168	844	

(別記2) 職員数

月	園長	保育士			調理員		事務員他		合計			備 考
		正規	非常勤	パート	正規	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤	パート	
4月	1	16			3		1		21			
		10	5	1	2	1	1	1	13	7	1	
5月 ～ 3月	1	18			3		1		23			パート職員2名採用
		10	5	3	2	1	1	1	13	7	3	

(別記3) 行事的保育・教育活動

月 日	曜日	行 事 的 保 育 ・ 教 育 活 動 他
4月1日	土	入園式 保護者同伴。式は理事長・担当理事・園長のあいさつ、各組担任による園児の紹介、子どもたちの歌、職員の人形劇で終え、各組でおやつを食して11:30降園する。 保護者会(役員選出・年間行事計画)
4月13日	木	内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
4月15日	土	一年点検(共立建設)
4月25日	火	歯科検診 医師 道田 満代氏 10:00～12:00
5月13日	土	歓迎遠足 松前公園 10:00～14:00
6月3日	土	保育参観日 全クラス 9:30～12:00
6月18日	日	故 藤田 基先生のお別れ会 (三津教会・愛隣園主催)
6月22日	木	花の日 三津教会で礼拝を守り、子どもたちが、日頃お世話になっている公共施設やご近所に感謝の気持ちとともに花を届ける。
7月22日	金	三津浜児童クラブ主催 ミニコンサート くま組(5歳児)、きりん組(4歳児) (松山市地域交流センター) 11:00～11:40
7月26日	水	交通安全教室 10:00～11:00
7月29日	土	興居島海水浴 くま組(5歳児14名)、引率者(職員8名、役員・保護者4名)
8月2日	水	自由保育参観日 9:30～12:00の間自由に参観してもらう
8月4日	金	
8月5日	土	稚魚放流活動 (財)日本釣振興会主催 10:00～11:00(年長児参加)
8月7日	月	マーチングバンド見学 (茨城県大洗高校) 石井北小学校 (年中・年長児参加) (台風接近による警報のため、見学取り止め)
8月10日	木	西中等教育学校 職場体験 (9名)
8月25日	金	三津浜児童クラブ交流会 「人形げき団どんぐり」公演 13:30～14:10
9月13日	水	劇団すぎのこ 公演 「おだんごばん」他 10:00～12:00
9月16日	土	敬老参観日 <プログラム> 1. 子どもたちのハンドベル奏・うた 2. 職員の劇、aimによるコンサート(オカリナ・チェロ・ピアノ) 3. 茶話会

月 日	曜日	行 事 的 保 育・教 育 活 動 他
9月27日	水	津田中学校2年生職場体験 3名来園
9月28日	木	
10月2日	月	今治明德短期大学2年生1名 保育実習
10月14日	土	
10月30日	月	運 動 会 大可賀公園で保護者、祖父母、地域の方、 台風で2回順延となり、月曜日に行く。終了後、必要な方は保育を行う。9:00～12:30
10月31日	火	アンパンマントロッコ列車遠足 くま組(5歳児)参加…他園と一緒に波方公園へ
11月4日	土	ハナミズキ植樹
11月6日	月	聖カタリナ短期大学1年生1名 保育実習
11月17日	金	
11月11日	土	こども園ミニバザー(保護者会主催)
11月14日	火	秋の楽しいおもちゃランド(三津浜小学校) 10:15～11:20
11月24日	金	起震車体験 松山西消防署
11月28日	火	歯科検診 医師 道田 満代氏 10:00～12:00
11月29日	木	感 謝 祭 雨天のため、こども園で三津教会の森分牧師、教会員の方々と一緒に礼拝を守る。 家から持ち寄った果物・野菜を年中・年長児が雨天のため、数名ずつに分かれて ご近所や、公共施設に届ける。
11月30日	木	内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
12月17日	土	クリスマス祝会 クリスマス礼拝と祝会を保護者やその家族とともに。 10:00～11:30
1月13日	土	もちつき 新型インフルエンザ、ノロウイルス等感染症に配慮してもちつき機を使って 行う。また、臼・杵を使ってのもちつきも体験する。近隣の家庭に配る。
2月24日	土	お別れ遠足 伊予市しおさい公園 9:30～13:30 保護者、祖父母、卒園した小学生にも声をかけ園児との交流を持つ。
3月2日	金	近隣の高齢者施設火災防ぎょ訓練見学 2歳児から5歳児まで参加 10:00～11:00 はしご車や消防防災ヘリコプターなどを使った訓練を見学
3月24日	土	遊戯会、卒園式を合わせて行う 9:15～12:45 新入園児の面接 15:00～16:30

- ※ 誕生会 … 毎月1回
- ※ 避難訓練 … 毎月1回(総合訓練年2回)
- ※ 給食弁当… 毎月1回
- ※ 身体測定… 毎月1回

(別記4) 特別事業の実施状況

- ① 一時預かり事業 … 一時的に家庭での保育が困難となった場合や、育児疲れの負担を軽減するため一時的に預かることで、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図ることを目的として行う。

一時預かり保育事業延人数 (月～金曜日 8:30～17:00)

月	実人数	延人数
4	21	163
5	23	163
6	25	182
7	29	185
8	28	171
9	30	180
10	30	201
11	34	210
12	36	195
1	30	180
2	30	186
3	35	211
29年度合計	351	2,227
参考28年度合計	278	1,664

- ② 延長保育事業 … 就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため行う。

延長保育事業延人数 (月～金曜日 18:00～19:00 の利用者)

月	未満児	3歳児	4歳以上児	合計
4	29	33	72	134
5	32	40	81	153
6	45	42	91	178
7	39	28	69	136
8	27	21	81	129
9	36	40	69	145
10	53	33	73	159
11	39	35	77	151
12	44	30	57	131
1	31	25	49	105
2	29	25	54	108
3	38	30	84	152
計	442	382	857	1,681
参考 28年度計	570	280	471	1,321

③ 地域子育て支援拠点事業 …… 主に0歳児から3歳児の未就園児とその保護者また、妊娠中の母親に対して、子育て親子の交流等の提供と促進、子育てに関する相談援助等を基本として活動を行う。

1 活動日時 月曜日～金曜日 10:00～15:00

2 活動内容

- ・地域交流室(センタールーム)の開放 …… 園内の地域交流室に様々な玩具や、絵本をそろえ自由に遊べるように開放している。
- ・園庭開放 …… 天気の良い日に、園の広場や屋上を開放している。
- ・育児講座 …… 月に一回程度、製作や遠足など育児や生活が楽しくなるような内容や保護者の関心のあることを取り入れ、11月からは、給食試食会も取り入れ、園の給食を味わう機会を作っている。
- ・育児相談 …… 電話、来園等で育児の悩みや不安、困っている事などの相談を受けている。特に、支援センターについての利用の仕方や活動内容について等 情報提供を行うことが多かった。
- ・絵本の貸出 …… 地域交流室に置いている、絵本や育児・離乳食等の本の貸出を行う。

3 支援センターの利用者人数

〈 育児講座 〉

月日	活動内容	参加者		
		参加組	子ども	保護者
4月27日(木)	こいのぼり製作	8	10	8
5月24日(水)	おもちゃ製作	10	11	10
6月29日(木)	リズム遊び	13	16	13
7月19日(水)	おもちゃ製作	10	13	11
8月22日(火)	足形フォトフレーム製作	8	11	9
9月13日(水)	人形劇(劇団すぎのこ)	11	12	11
10月25日(水)	親子遠足	4	5	4
11月14日(火)	給食試食会(育児講座として開催する)	6	7	6
12月20日(水)	スノードーム製作	8	10	8
1月30日(火)	鬼のお面製作	9	12	10
2月21日(水)	ひなまつり製作	10	13	10
3月27日(火)	お別れ遠足	12	17	13
	計	109	137	113

〈 センタールーム ・ 園庭開放 〉

月	利用者			絵本貸出
	家庭数	子ども	保護者	
4	21	25	21	13 冊
5	43	47	44	8 冊
6	71	82	72	5 冊
7	51	74	52	3 冊
8	55	65	55	4 冊
9	56	59	58	5 冊
10	48	57	51	0 冊
11	51	61	56	4 冊
12	27	33	27	3 冊
1	30	32	31	1 冊
2	72	80	74	5 冊
3	81	102	83	1 冊
計	606	717	624	52 冊

< 園行事 >

月日	行事	活動内容	参加者		
			参加組	子ども	保護者
10月30日(月)	音の広場(運動会)	・未就園児の競技に参加する。	11	15	14
10月31日(火)	秋の遠足(アンパンマントロッコ列車)	・年長児と一緒にトロッコに乗る。	8	10	8
11月11日(土)	こども園バザー	・園内で行われたバザーに参加する。	20	24	25
計			39	49	47

< 給食試食会 >

月日	給食メニュー	参加者		
		参加組	子ども	保護者
11月14日(火)	・ご飯 ・魚(さば)の竜田揚げ ・かぶと柿の酢物 ・けんちん汁	6	7	6
12月22日(金)	《立食パーティー》 ・ドリア ・フライドチキン ・グリーンサラダ ・ライス(ポテト)サラダ ・ナポリタン ・パン ・フルーツポンチ ・お菓子ツリー	8	9	8
1月16日(火)	・麻婆丼 ・キャベツときゅうりの甘酢和え ・バナナ	7	9	7
2月16日(金)	・ご飯 ・れんこん入りハンバーグ ・ポテトサラダとプチトマト ・コンソメスープ	8	10	9
計		29	35	30

4 相談件数

月	相談件数				相談内容
	発達・発育	育児不安	情報提供	その他	
4	1	2	3	0	・利用料のしくみについて ・入園の手順 ・トイレトレーニングについて 朝の仮眠の必要性 ・言葉が出ない
5	1	1	3	0	・動き回る行動について ・園の様子を知りたい ・夜泣きについて ・入園について(2件)
6	0	1	3	1	・一時預かりについて(3件) ・入園について ・トイレトレーニングに関して
7	2	1	5	0	・支援センターについて(2件) ・よく転ぶことがある ・友だちとのトラブル ・一時預かりについて(2件)
8	0	1	2	0	・後追いがひどい ・一時預かりについて(2件)
9	0	1	5	0	・一時預かりについて(2件) ・支援センターについて(2件) ・周辺の保育園について ・断乳、トイレトレーニングに関して
10	0	1	6	0	・当園の見学希望(2件) ・入園について(4件) ・夜泣きについて
11	1	1	7	0	・支援センターについて ・一時預かりについて(2件) ・当園の見学希望(3件) ・月齢に応じた発育について ・離乳食について ・入園について
12	0	0	2	0	・当園の見学希望 ・一時預かりについて
1	2	0	4	1	・一時預かりについて(2件) ・遊び方について ・偏食について ・当園の見学希望 ・言葉について ・支援センターについて
2	0	1	2	0	・一時預かりについて(2件) ・食欲がない
3	2	0	4	0	・入園に関して ・トイレトレーニングに関して ・一時預かりについて(2件) ・子どもの気になる行動について ・支援センターについて
合計	9	10	46	2	計 67件

④ 障害児保育事業 … 障害児の保育を推進し、障害児に対する適切な処遇の確保を図る。

対象児： 3歳児 4名 1歳児 1名 計5名
(松山市障害児等療育支援事業利用について)

1 実施した支援等の内容

施設支援一般指導事業

- ・成長や発達がゆるやかな子、配慮が必要な子、病気や障がいがある子への関わり方や療育等の相談
- ・聴覚障害児地域支援サービス
- ・配慮が必要な子に対して、また、クラス全体に対して、クラス運営の仕方についての相談
- ・保護者への伝え方や支援について相談する。

2 利用施設

- ・社会福祉法人 福角会 くるみ園
- ・愛媛県視聴覚福祉センター
- ・愛媛県立子ども療育センター

(対象外児)

- ・おおぞら病院、八坂小学校内ことばの教室

3 施設支援実施内容

回	月日	実施内容	利用施設
1	6月14日	3歳児クラスを中心に配慮の必要な子の様子を見てもらう。集団での働きかけ方、クラスや園で意識するところ、また今年度の方針を話し合う。	くるみ園
2	6月16日	対象児の園での様子を見に来られる。対象児の現状を伝えたり、センターでの様子、見解を聞く。	愛媛県視聴覚福祉センター
3	7月25日	3歳児クラスの活動(水遊び)の様子を見てもらう。くるみ園の担当者に実践してもらい、支援の方法を知る。①	くるみ園
4	9月22日	園行事の誕生会と一緒に参加してもらい、その時の様子を把握してもらう。くるみ園の担当者に実践してもらい、支援の方法を知る。②	くるみ園
5	1月29日	くるみ園の担当者に実践してもらい、支援の方法を知る。③ 支援の方法や話し合ったことを職員間で共有する。	くるみ園

※2017年度は重点的に見てもらうクラスが定まり、そのクラスに合った支援方法を細かく知ることができた。ことばの発音に対する意識ができ、日頃の保育でも取り組むことができた。ただ、くるみ園の諸事情で回数が制限されたことは残念だった。

外部研修では“耳の聞こえ”についての研修に参加し、子どもの聞こえの困り感を理解、共有でき保育に結びつけることができた。

教育相談(松山市教育委員会)の利用について

年長児1名 第1・2回松山市教育相談会に申請する。

- ・保護者の意向を聞きつつも園生活の様子を伝え、子どもたちにとってより良い小学校生活が送れるよう話し合う。
- ・教育相談では小学校への移行がスムーズにできるよう、保護者、園長、特別支援教育担当教職員と話をする。また、発達検査等の実施をする。
- ・入学を希望する小学校の学年主任、予定される担当職員と引き継ぎを丁寧に行う。(こども園にて)

年長児1名 随時の松山市教育相談会に申請する。

- ・保護者のほうから吃音を心配されて、耳鼻咽喉科、八坂小学校内にあることばの教室を経て随時の教育相談を受ける。特別支援教育指導員2名来園。発達検査等の実施や園での様子を見てもらう。
- ・後日、検査結果を踏まえ、保護者、担任、園長、特別支援教育指導員等で話し合いを行う。

(別記5) その他

① 食育活動・アレルギー食について

※食育の取り組み

- ・年齢別に年間食育計画を立て、園児の健やかな食習慣を培うようにした。
- プランターに野菜の苗を植えるが、例年に比べると収穫が少なく活用も充分にできなかった。

月	活 動 内 容
4月 5月	クッキング…お好み焼き・プリンアラモードのフルーツをトッピング } いちごの収穫 空豆の皮むき 各クラスで野菜の苗を購入。苗植えをし、お世話をする。 くま組(5歳児)…ブロッコリー・なすび きりん組(4歳児)…白オクラ・なすび うさぎ組(3歳児)…ミニトマト・きゅうり りす組(2歳児)…オクラ・オレンジトマト ひよこ組(0~1歳児)…あいこ・黄トマト・なすび ぱんだ組(一時預かり)…ぱんだ枝豆・トマト 芋の苗付け
6月	どうもろこしの皮むき クッキング…クッキーの型抜き
7・8月	野菜の収穫 かき氷 すいかわり
11月	クッキング…クッキーの型抜き たこ焼き大会 くま組…園の畑の芋ほり
12月	クリスマス立食パーティー(バイキング) おでんパーティー ポップコーンパーティー
1月	もちつき大会
2月	クッキング…ピザ クッキング…お好み焼き・プリンアラモードのフルーツをトッピング
※月に一度、給食弁当の日を設け、各家庭からお弁当箱を持参し、給食を詰める。 以上見は自分たちで、給食をお弁当箱に詰める。	

※29年度 アレルギー児への対応

	年齢・性別	アレルギー	除去の状況	解除
1	0歳男児	卵	完全除去	
2	0歳男児	卵	完全除去・葉物野菜(小松菜・ほうれん草・青梗菜) ピーナッツ・そば	
3	1歳女児	卵	完全除去・6月よりつなぎ、焼き菓子、練り製品、パン、クッキー類はOK	
4	1歳女児	卵 乳	完全除去・3月より卵白を少量含む製品類はOK…食パン、練り製品 ハム・牛乳を含む製品類はOK…菓子パン、焼き菓子、クッキー	
5	2歳男児	卵	完全除去・4月よりつなぎ、焼き菓子、練り製品、クッキー類はOK	29年11月 解除
6	2歳女児	卵	つなぎ、焼き菓子、練り製品、クッキー類はOK	29年7月 解除
7	2歳女児	卵	完全除去…専用の調理器具が必要	
8	3歳男児	卵	完全除去	29年4月 解除
9	3歳男児	卵	完全除去・12月より卵白を中等量含む焼き菓子、 つなぎに卵白を少量含む製品、練り製品はOK	
10	4歳男児	卵	完全除去	
11	5歳女児	卵	つなぎ、焼き菓子、練り製品、クッキー類はOK	
12	5歳男児	卵	つなぎ、焼き菓子、練り製品、クッキー類はOK	
		乳	牛乳は除去・4月よりチーズ、乳が含まれる食品はOK	

②感染症・ケガ等について

感染症	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザA型								1		10	1	2	14
インフルエンザB型								1		4	2	2	9
感染性胃腸炎		1	1		1			3	4		1	3	14
流行性耳下腺炎		1					1						2
ヘルパンギーナ					2								2
溶連菌感染症		1									3	1	5
手足口病				3	20								23
RSウイルス											1	1	2
アデノウイルス	1	5											6
ヒトメタニューモウイルス		1	1										2
クループ		1									1		2
合計	1	10	2	3	23		1	5	4	14	9	9	81

※ インフルエンザは、人数は多いが、年末年始や連休中の休日にかかっており、こども園内での感染は少なく、例年のような広がりはみられなかった。感染性胃腸炎も同様であった。手足口病が多かったが、出席停止の病気ではないことから、潜伏期間や感染期間中に感染した可能性が高いと考えられる。

こども園で手当てをし、保護者に報告したもの(ヒヤリハット報告書)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
唇のケガ	2 (1歳2名)	2 (1歳2名)	1 (1歳1名)			1 (1歳1名)	1 (1歳1名)	1 (0歳1名)	3 (1歳3名)	2 (0歳1名)	2 (0歳1名)		15
打ち身等	5 (0歳2名) (1歳1名) (2歳2名)	1 (2歳1名)	6 (0歳2名) (1歳2名) (2歳1名) (5歳1名)	1 (2歳1名)	4 (2歳1名) (3歳3名)	4 (0歳2名) (2歳1名) (5歳1名)	5 (0歳3名) (1歳1名) (4歳1名)	3 (0歳1名) (2歳2名)	2 (0歳1名) (2歳1名)	4 (0歳2名) (1歳1名) (4歳1名)	7 (0歳5名) (3歳1名) (4歳1名)	1 (2歳1名)	43
ひっかき	2 (2歳1名) (5歳1名)	1 (1歳1名)	2 (2歳1名) (3歳1名)		1 (3歳1名)		2 (0歳1名) (5歳1名)	4 (0歳2名) (4歳2名)	1 (2歳1名)	2 (0歳1名) (4歳1名)	2 (0歳2名)	2 (0歳2名)	19
かみつき	3 (1歳3名)	1 (1歳1名)	1 (1歳1名)	1 (2歳1名)	3 (1歳3名)		1 (0歳1名)	2 (0歳1名) (2歳1名)		1 (3歳1名)			13
すり傷等			4 (4歳3名) (5歳1名)	2 (5歳2名)			1 (1歳1名)		2 (0歳1名) (1歳1名)		2 (4歳2名)		11
合計	12	5	14	4	8	5	10	10	8	9	13	3	101

病院を受診したもの

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
陰部のケガ				1 (3歳1名)									1
目じりのケガ					1 (2歳1名)								1
足の親指の爪のケガ						1 (1歳1名)							1
たんこぶ						1 (5歳1名)							1
前歯を打つ										1 (5歳1名)	1 (4歳1名)		2
あごの下のケガ											1 (一時1名)		1
鼻の下のケガ												1 (1歳1名)	1
皮膚炎(植物にさわる)							2 (5歳2名)						2
合計				1	1	2	2			1	2	1	10

※ 前年度の病院受診の件数は3件だったが、それと比較すると、3倍以上となった。ほとんどは治療を要するものではなく、念のためというところで受診する。再受診は、足の爪のケガの一件のみであった。

③苦情及び苦情解決の状況について

平成29年度苦情件数 … 0件

④ 研修参加状況について
平成29年度 施設外研修

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
1	H29.4.8	平成29年度 松山市保育会総会	主幹保育教諭 指導保育教諭 保育教諭 保育士	総会 全体研修 講演「ことばをつたえる 未来へ」	松山市
2	H29.4.14	2017年度 日本キリスト教保育所同盟 四国地区 理事長・園長会	園長 保育教諭	開会礼拝 総会 講演学習会「ミッションステートメント(使命の宣言)」 閉会祈祷	香川県
3	H29.4.15	平成29年度 愛媛難聴児を共に育む会	保育教諭	難聴児の理解の基礎(講義) 難聴体験	松山市
4	H29.4.26	平成29年度 発達支援実践研修(第1回)	保育教諭	演題「個別支援計画・指導計画の活用～子どもの困り感の捉え方～」	松山市
5	H29.5.22) H29.5.23	平成29年度 愛媛県教育・保育施設初級研修会	保育教諭	講義Ⅰ・実技「えっちゃんがいざなう絵本の世界」 講義Ⅱ「保護者対応について」 講義Ⅲ「保育士として考えること」 講義Ⅳ「社会人としての基本ビジネスマナー修得に向けて」	松山市
6	H29.6.22	保育所等給食・食育担当者研修会	調理員	講話「食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応について」 意見交換・情報提供・事務連絡	松山市
7	H29.6.2	愛媛県園長等運営管理協議会 (園長の部)	園長	講演「幼児期における言葉の育ち」 説明「新しい幼稚園教育要領について」 情報交換	松山市
8	H29.6.10	平成29年度 愛顔でつなぐ “学校・家庭・地域”の集い	指導保育教諭	講演「100年続くふるさとをつくる」 分科会「子育て・家庭教育支援」	松山市
9	H29.6.27	平成29年度 聞こえの研修会	保育教諭	講座1「聴覚障がい基礎知識」 実習「難聴の疑似体験」 講座2「県内における聴覚障がい児の発見と療育について」 講演「聞こえとことばの育ち～健診に関わる方のために～」	松山市
10	H29.8.18	平成29年度 聴覚障がい児担任者研修会	保育教諭	聴能訓練の紹介 難聴疑似体験 講演会「聴覚障がい児の理解と支援について」	松山市
11	H29.6.9) H29.10.2	第30期 主任保育士・主幹保育教諭 特別講座	主幹保育教諭	講義「子ども家庭福祉の動向」「保育専門職に求められるソーシャルワーク」 「地域子育て支援の拠点としての役割」「家庭(保護者)支援」「保育の計画」「乳児保育」「障害のある子どもと保護者の支援」「現代保育課題」 「保育専門職におけるスーパービジョン」「保育士会活動」「論文の書き方」 「リスマネジャーとしての役割」「対人援助におけるコミュニケーション」	神奈川県
12	H29.6.5	平成29年度 松山市要保護児童 対策関係機関研修会	指導保育教諭	講演「子どもを虐待から守る地域づくり～今、地域にできること～」	松山市
13	H29.7.13) H29.7.14	第64回 四国地区人権教育研究大会	保育教諭	全体会 分科会「人権確立をめざす教育の創造～人権確立をめざす教育をどのように創造しているか」 「進路保障～進路保障をどのようにすすめているか」	松山市
14	H29.6.24	相互研修会	保育教諭	講演・実技「身体と心を健康に」 ・安全で効果的な運動プログラム ・子どもたちにつながる健康運動	松山市
15	H29.6.8	平成29年度 愛媛県水泳プール安全管理講習会	指導保育教諭	プール施設の安全管理について 救急法について	松山市
16	H29.7.1	運動会 実技研修会2017	保育教諭	運動会 実技	砥部町
17	H29.8.23) H29.8.25	第59回 夏季保育大学	保育教諭	講演「夢待ち続け日々精進」「天職としてのケア」 「いのち一番」～輝くいのち～ フィールドワーク 佐世保探訪 (佐世保軍港・史跡巡り・西海国立公園・九十九島めぐり)	長崎県
18	H29.7.4	平成29年度 第2回松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	指導保育教諭 保育教諭	講演「支援に活かす“肯定的注目”と“コミュニケーション”」 グループ討議	松山市
19	H29.6.30	平成29年度 発達支援実践研修(第3回)	保育教諭	演題「発達障がいについて(初級編)～子どもと向き合う あたかもこころもわからなく～」	松山市
20	H29.6.24	全国認定こども園協会 ICT化研修会・中四国総会	保育教諭	総会 講演「子ども・子育て支援制度を活用した自治体の取り組み」 「労務リスクマネジメント」「処遇改善・キャリアアップ」について 「認定こども園のマネジメント～ICTを活用した働きやすい環境づくり～」	広島県
21	H29.7.3	中堅保育士研修会	保育教諭	講義内容「関わりが難しい子どもと保護者の理解と対応」	松山市

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
22	H29.7.18	第62回 愛媛県保育事業研修大会	保育教諭	講演Ⅰ「『いわき流』よいおもちゃ選びと子育てのコツ」 講演Ⅱ「保育所保育指針改定のポイントとこれからの子育て支援について」 パフォーマンス「まぼろし美術館～幼心を温めるサトアート～」	松山市
23	H29.8.10	平成29年度 課題別研修 【幼児教育】学びをつなぐ幼小連携の在り方	保育教諭	講義「幼小連携について」 講義・演習「交流活動の充実」 協議・シンポジウム「幼小連携に向けた今後の在り方」	松山市
24	H29.8.17	平成29年度 課題別研修 【幼児教育】主体的・対話的な学びに向けた 実技研修	指導保育教諭	講義・実習「幼稚園で生かせるICT活用術」「子育て支援における 相談活動」 実習「身の周りの物を使った遊び」	松山市
25	H29.7.10	平成29年度 総会・第1回社会福祉法人セミナー	園長	講義「要チェック！改正社会福祉法施行後の法人経営」 説明「知らないでは済まされない！指導監査ガイドライン徹底解説」	松山市
26	H29.8.2	主任保育士・主幹保育教諭研修会	主幹保育教諭	講義内容「災害から園児を守るための取り組みについて」 「保育士のためのコミュニケーション&マナー講座～心に届く言葉遣い、 心を受け止める感性の磨き方～」	松山市
27	H29.8.16 ） H29.8.17	平成29年度 社会福祉法人初級会計研修会	事務員	講義「複式簿記の基礎」「社会福祉法人特有の会計処理」 「財務諸表の読み方」「内部統制について」 「関係する税務について」「会計監査について」	松山市
28	H29.8.7	給食施設のための栄養講習会	調理員	講演Ⅰ「給食施設の衛生管理について」 講演Ⅱ「大量調理・品質アップのポイント」 その他情報提供	松山市
29	H29.9.11 ） H29.9.12	平成29年度 全国認定こども園 園長・副園長(教頭)ステップアップ 研修会Ⅰ〔基礎講座〕	園長	講演「理念A、B」「制度概要」「質の向上A、B」「子育て地域支援」 「法令遵守」「マネジメント」	大阪府
30	H29.9.30	平成29年度 松山市医師会園医会総会	保育教諭	前年度事業報告 話題提供 特別講演「発達障害の乳幼児における背景 と心理学的なアプローチ」「Soma House式発達障害児の脳と改善方法」	松山市
31	H29.9.9	相互研修会	保育教諭	講演「幸せの種をまこう～成長期の食事は人生を変える～」	松山市
32	H29.9.27 ） H29.9.28	平成29年度 愛媛県主任保育士・ 主幹保育教諭研修会	主幹保育教諭	講義Ⅰ「自律的な仕事で成長する組織をつくろう～具体的行動変容と 自己成長につなげる～」 発表・グループ討議「保育者の資質向上を図る」 講義Ⅱ「保・幼・小接続期のあり方と今後の方向性」 講義Ⅲ「参加型園内研修のすすめ」	松山市
33	H29.10.18	保育所等給食・食育担当者研修会	調理員	講話「大量調理施設衛生管理衛生管理マニュアル改正について」 「保育所等給食での衛生管理について」 事例発表「保育園での給食・食育の取り組みについて」	松山市
34	H29.10.10	ノロウイルス予防体感セミナー	保育教諭	第1部「事例で学ぶノロウイルス予防」 第2部「実演！衛生のプロによる汚物処理指導」	松山市
35	H29.10.14	てんかん講座	保育教諭	テーマ「てんかんと共に生きる」	松山市
36	H29.11.17 ） H29.11.18	日本キリスト教保育所同盟 2017年度 四国地区職員研修会	園長 保育教諭	講演、保育園見学	高知県
37	H29.11.18	平成29年度 体育実技研修会	保育教諭	体育実技	松山市
38	H29.11.18	認定こども園教育・保育要領 研修会	園長 保育教諭 保育士 事務員	講演「保育をめぐる最新状況と今後の課題 ～子ども・子育て支援の充実～」	伊予市
39	H29.11.7	平成29年度 愛媛県人権・同和教育研究大会	主幹保育教諭	特別報告「父から私へ、そして吾が子へ」～部落差別解消推進法へ 願いを託して～ 分科会「人権教育の創造」	松山市
40	H29.11.7	平成29年度 第4回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	指導保育教諭 保育教諭	講演「気になる子どもの心と行動の理解」 グループ討議	松山市
41	H29.11.20 ） H29.11.21	平成29年度 愛媛県0・1歳児保育研修会	保育教諭	講義Ⅰ「子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク」 発表・グループ討議「子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク」 講義Ⅱ「赤ちゃんとお話する方法」 講義Ⅲ「目の前の子どもたちに忘れ物をさせていませんか？」	松山市
42	H29.12.12	平成29年度 防災管理担当者研修会	園長	講演「学校における防災教育・防災管理について」 講義「国民保護について」 実践発表、事例紹介	松山市
43	H29.12.6	給食担当者研修会	調理員	講演・実習内容「アレンジ行事食」	松山市

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
44	H30.1.13	子ども子育て連絡協議会開催 スタッフ研修会	園長 主幹保育教諭 指導保育教諭 保育教諭 保育士	テーマ「保育・教育現場の危機管理とコンプライアンス」 講演①「オーナーの意識を持つ」 講演②「事故のケースとその対応(コンプライアンス)」	松山市
45	H30.1.23	平成29年度 愛媛県教育・保育施設 就職者支援研修会	園長	講義Ⅰ「新しいスタッフを迎える側の心構え～「イクボス」を目指そう！～」 講義Ⅱ「ブレない運営をするために～理念の追求～」	松山市
46	H30.1.24	平成29年度 愛媛県教育・保育施設長研修会	園長	講義Ⅰ「新保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領 の解説と改定のポイント①」 講義Ⅱ「新保育所保育指針及び 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の解説と改定のポイント②」	松山市
47	H30.1.24	平成29年度 第5回 松山市地域子育て 支援拠点事業 研修会	指導保育教諭 保育教諭	講演「育児・出産休暇後の社会復帰における拠点の役割」 グループワーク・質疑応答	松山市
48	H30.2.3	相互研修会	調理員	「災害時にも役立つエコクッキング&みんながひとつにアイズブレイク」	砥部町
49	H30.2.14	主任保育士・主幹保育教諭②研修会	主幹保育教諭	講義「保育現場における働きやすい環境とは？」～職員間の連携や 管理業務などの、保育現場ならではの環境づくりについて～	松山市
50	H30.2.7	平成29年度 退職共済実務研修会及び 福利厚生センター担当者研修会	事務員	・愛媛県民間社会福祉事業従事者退職共済支援事業について ・複利厚生センター事業について ・退職共済電子申請システムについて	松山市
51	H30.2.13	選ばれる園になるためのセミナー	保育教諭	選ばれる園になるための小学校までに育ってほしい学びの姿	松山市
52	H30.3.4	研修会	園長 主幹保育教諭 指導保育教諭 保育教諭 保育士	保育所保育指針の改定、幼保連携型認定こども園教育・ 保育要領の改訂について	松山市
53	H30.3.29	松山市保育会代議員会	保育教諭	平成29年度事業報告・平成29年度会計報告 平成30年度事業計画・平成30年度会計予算	松山市
54	H30.3.6	平成30年度 第6回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	指導保育教諭 保育教諭	「児童虐待の現状と対応について」 グループワーク・質疑応答	松山市

※子ども・子育て連絡協議会について

子ども達の未来を考え、より良い子育て環境の整備のための協議及び提案を行うことを目的とする。
会員は、私立保育園及び認定こども園、地域保育所並びに子ども子育てに関係する諸団体とする。
目的を達成するために、次のことを行う。

- (1) 定期的な会員相互の情報共有のための会議。
- (2) 子ども子育てに関する行政及び諸団体との連絡と調整等。

開催日

参加者

第1回 平成29年 6月12日	園長・事務員
第2回 平成29年 9月13日	園長・事務員
第3回 平成30年 1月31日	園長・事務員

2017年度（平成29年度）

ガリラヤ荘 事業報告

《 事業の種類 》

- I. 特別養護老人ホーム〈介護老人福祉施設〉 定員80名
- II. (介護予防) 短期入所生活介護事業〈ショートステイ〉 定員20名
- III. (介護予防) 通所介護事業〈デイサービス〉 定員35名
- IV. 居宅介護支援事業
- V. 在宅介護支援センター
- VI. (介護予防) 訪問介護事業〈ホームヘルプサービス〉

ガリラヤ荘（全体）

取組事項	実践内容
命と尊厳を守り 安心して生活できる 施設づくり	<p>《利用者が中重度（平均介護度4.1）の状況の中で笑顔のある暮らしをおくるために》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平穩ケア（トータルケア）の実践…入院日数の減少（前年度より411日減） 多職種による困難事例検討の定着 ・ハピネス・オブ・ライフ（HOL）の提供…外出・クラブ活動の充実 ・介護力を高める研修…基礎介護と上級介護研修の実施 ・感染症の集団発生…インフルエンザ45名（職員含む） ・虐待・身体拘束0件 ・家族との情報共有のため、家族会開催（2日間・47家族58名参加） ・防犯等に係る安全確保…防犯カメラ、ドライブレコーダー（車輦）設置
在宅生活継続 の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅利用者のトータルのサポート…トータルケア・アセスメントと記録シートの活用 ・地域サロンへの出前講座…認知症と介護予防体操について（6か所） ・関係機関と連携した地域づくり…地域ケア会議・地区診断等
地域・広報活動 の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやブログ等での情報発信 ・新パンフレットの製作（作成中） ・ガリラヤ荘感謝祭2017の実施（11月26日） ・地域自主防災組織との連携…合同訓練（年2回）、福祉避難所設置訓練（東温市合同）
やりがいを感じ 働きやすい 職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの実施（8月）…こころ塾に従業員支援事業を委託（職員こころの保健室） ・リフレッシュ休暇（連続7日）の実施（介護職） ・第3回実践事例発表会開催（1月30日・8事例発表）…職員会（3月）にて表彰 ・第2回部門別えがお大賞投票実施（12月）…職員会（3月）にて表彰
安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の運営会議にて、各部署の実績確認

I. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1. 入所者の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

【出身地別入所・退所状況】

出身地 (保険者)	保険者別入所者数			平成 28 年度中の移動状況					
				入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
東温市	15	51	66	2	9	11	2	5	7
松山市	2	10	12	0	2	2	2	2	4
西条市	0	0	0	0	0	0	1	0	1
砥部町	0	1	1	0	0	0	0	0	0
合 計	17	62	79	2	11	13	5	7	12

【年齢構成】

項 目	男	女	全体
入所者数	17	63	80
平均年齢	84.2	89.6	88.4
最高齢	100	106	
最年少	73	74	

【要介護度別人数】

要介護度別	男	女	計
1	0	2	3
2	1	5	6
3	1	7	8
4	6	17	23
5	9	31	40
平 均	4.35	4.08	4.14

2. 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延べ日数
4月	7	41
5月	3	19
6月	5	34
7月	7	94
8月	7	64
9月	4	50
10月	6	34
11月	7	72
12月	5	49
1月	7	101
2月	7	70
3月	6	58
合 計	71	686
月平均	5.9	57.2

【入院疾患別人数（延べ人数）】

疾 患 名	今年度	前年度
肺炎	19	27
心疾患	6	7
脳梗塞	0	2
膀胱炎・腎盂腎炎	6	0
腸閉塞	1	4
骨折	0	2
胆石・胆のう炎	1	3
その他(癌/帯状疱疹含む)	14	20
合 計	47	65

※緊急搬送回数 0回（前年度 0回）

【医療管理状況】 平成 30 年 3 月 31 日現在

医 療 行 為	今年度	前年度
胃ろう	3	3
腸ろう	0	0
在宅酸素療法	0	3
人工肛門	1	2
尿道留置カテーテル	0	1

* 前年度実人数 98名

延べ日数 1,097日

〈感染症報告〉

年明けからショート利用者や清掃員がインフルエンザを罹患。感染源となって多数の入所者と職員に感染。

感染拡大の原因として、予防接種により症状が抑制され「隠れ感染者」が多く存在したこと、適切な湿度管理ができなかったことなどが考えられる。平常時より感染予防マニュアルに従った予防策を周知徹底する必要がある。

〈その他〉

ノロウイルス等の感染症発生はなし。

【まとめ】

要介護度の重度化に比例する形で入所者の疾患の複雑化・重症化がみられる中、本年度の入院日数は過去最少。職員各々が基礎介護を確実に実践することにより、適切なケアを提供できている結果だと思われる。

次年度は、排泄ケアに焦点をあて、入所者がより気持ちよく排泄できるよう「トイレで排泄」に取り組む。

インフルエンザ	A型	B型
特養入所者	2	15
短期利用者	8	0
デイ利用者	1	2
特養職員	3	10
短期職員	1	1
在宅職員	0	1
デイ職員	1	0
合計	16	29

3. 機能訓練の状況

「口腔ケア（リハビリ）の周知徹底を目指す」と「心身機能の維持・向上と自然排便につながる支援を目指す」を目標に取り組んだ。歯科医師、歯科衛生士による口腔ケアの実施指導、その指導内容を現場に伝達し日々のケアへ反映させた。また、利用者のトイレ介助アプローチを題材に介護職が実践事例を発表し、トイレでの排泄につながる支援について一石を投じた。

【週間スケジュール】

	担 当	月	火	水	木	金	土
午前	介護職員	集団体操 (各ユニットにて)					
	機能訓練指導員	南1丁目 個別	中1丁目 個別	北2丁目 集団活動	中2丁目 個別	南2丁目 個別	フリー 個別
	介護職員	お口の体操 (各ユニットにて)					
午後	機能訓練指導員	レクリエーション 風船バレー・音楽クラブ (週1回程度) クラブ活動 縫布クラブ (第1火曜)・習字クラブ (第2水曜)・俳句会 (第4水曜)					
	理学療法士 (非常勤)		特養2階 宮岡PT	個別 十全PT		特養1階 宮岡PT	

【機能訓練内容】

職 種	目 的	内 容
介護・看護職員	生活リハビリ	離床、口腔ケア・リハ、座位・立位訓練、手作業など
	集団体操	朝の集団体操、お口の体操
機能訓練指導員	個別機能訓練	関節可動域訓練、口腔リハ、座位・立位訓練など
	集団活動	集団体操 (朝の集団体操、お口の体操など) 集団レクリエーション (音楽クラブ、風船バレーなど)
理学療法士 (非常勤)	個別機能訓練	機能評価、関節可動域訓練、立位・歩行訓練など

ユニットケアの状況

『重点目標』

《1》平穩ケア（トータルケア）の実践により、穏やかな生活の支援

《2》利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作り出すケア

《3》利用者の重度化に対応する研修及びチームケアの定着

【全体】

目標	取組	実践内容	
トータルケアの実践	記録システムの継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの継続 ・多職種/ユニットリーダーによる「状態確認（ダブルチェック）」と「ケア方法検討（カンファレンス）」の実践 ・朝礼（朝の申し送り）方法（指示、助言）の見直しと実践 	
	基礎介護理解の継続	基礎介護勉強会の実施	6月「認知症」 7月「排泄」 9月「食事」 11月「移乗」 3月「入浴・褥瘡」（感染症により中止）
		上級介護勉強会の実施	8月、12月（2月は感染症により中止）
		ケア方法の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・食事ケア、口腔ケア、陰部洗浄ケア、水分ケアは、基礎介護実践が定着。 ・排泄ケアは下剤使用が減少。トイレ支援を含む排泄ケアは、研修等を実施し今後も継続。
		全国高齢者ケア研究会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高齢者ケア研究会（長野県） 平成30年2月 2名（施設長、生活支援部長参加）
	業務マニュアルの継続	<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニットのシフトマニュアル（オペレーションシート）の作成継続により、平常時の統一した業務内容を明確化。利用者及びユニットの状況変化に応じた更新を実践。 	
	多職種協働による情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種協働連携室を情報共有の拠点として、ミーティング、各種委員会の運営を実践 	
資質向上／人材育成の実践	定期面談による職員への助言・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・主任/リーダー等の面談方法の統一を図り、職員の不安を取り除き、組織人である自覚と専門職としての責任について継続支援 ・能力評価によるフィードバック（年間2回及び随時） 	
	介護職員が働きやすく、専門性を高めることができる支援体制の実施	正規職員（夜勤者優先）へのリフレッシュ休暇導入	年間7連休（公休2日+年休5日）または年間6連休（公休2日+年休4日）を取得
		各研修、勉強会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎介護、上級介護 他「接遇」「口腔」「看取り」「メンタルヘルス」等
	新卒採用者研修体制の継続	新人研修運営	<ul style="list-style-type: none"> ・新人研修テキスト作成 ・業務進捗状況チェックシートを作成。各新人職員の習得状況を確認しながら年間指導を実施
	内部研究発表会による研鑽	実践事例発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回実践事例発表会開催 発表時期：平成30年1月 最優秀「デイサービス」 『デイサービスでできる 楽・楽 体づくり』 優秀「中1丁目（特養）」 『普通型車椅子へ乗ることによる日常生活の活性化と意欲向上』

【中1丁目（特養）】

年間ユニットイベント（実績）

4月	お花見昼食会	10月	食事会(芋炊き)
5月	お好み焼きパーティー	11月	食事会(餃子パーティー)
6月	あじさいドライブ/鑑賞	12月	クリスマス会/忘年会
7月	たらいそうめん	1月	新年会
8月	花火鑑賞(観月祭)	2月	節分豆まき
9月	お月見団子作り	3月	ひな祭りパーティー

年間取組と振り返り ※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取組	評価	振り返り
いつまでも若々しい自分でいられるよう整容に努める。	2	食器の拭き上げ、タオルたたみ等の役割を持つことで笑顔が増えた。長時間居室で過ごす方に季節を感じていただけるよう掲示物を工夫。
誰が見ても生活感を感じられる気持ちのよい生活空間をつくる。	2	各居室に芳香剤を設置。環境整備は不十分。

【南1丁目（特養）】

年間ユニットイベント（実績）

4月	お花見昼食会	10月	芋炊き
5月	ベランダ喫茶/散歩	11月	季節のおやつ作り
6月	七夕飾り作り/天ぷら	12月	クリスマス会/忘年会
7月	すいか割り	1月	新年会
8月	花火鑑賞(観月祭)	2月	節分豆まき
9月	手作りおやつバイキング	3月	花壇づくり

年間取組と振り返り ※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取組	評価	振り返り
余暇活動の充実。（日中活動の充実、身だしなみの支援、笑顔を引き出すケア）	2	普段のレクは参加。日中活動は不十分。
季節感のあるユニットをつくる。（居室/リビングの整理整頓、季節感のある飾り付け）	3	季節を感じられるリビングの雰囲気づくりができた。

【中2丁目（特養）】

年間ユニットイベント（実績）

4月		10月	芋炊き
5月	お茶会	11月	スイートポテト作り
6月	散歩	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	花火鑑賞(観月祭)/スイカ割り	2月	節分豆まき
9月	お月見団子作り	3月	甘酒作り

年間取組と振り返り ※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取組	評価	振り返り
余暇、体操等の活動を増やし、メリハリのある生活が送れるよう支援する。	2	余暇は一部の職員はできた。全体的なお口の体操・朝の体操が不十分。
装飾、展示物などを工夫し、季節を感じながら生活できる環境づくりを行う。	3	利用者参加で既存の物を利用しながらできた。

【南2丁目（特養）】

年間ユニットイベント（実績）

4月	手作り喫茶（ホットケーキ作り）	10月	食事会（芋炊き）
5月	若葉昼食会	11月	スイートポテト作り
6月	あじさい鑑賞	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	花火鑑賞（観月祭）/スイカ割り	2月	節分豆まき
9月	お月見団子作り	3月	おやつパイキング

年間取組と振り返り ※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取組	評価	振り返り
楽しみのある生活が送れるよう、体操の実施、レク活動への参加を促す支援をする。	2	計画的にできなかった。
季節ものの掲示や花などを飾り、利用者が落ち着ける環境づくりを行う。	2	落ち着いて過ごしていたが、季節毎の掲示や花等の飾りが不十分。

【北2丁目（短期）】

年間ユニットイベント（実績）

4月		10月	炊き込みご飯
5月	豆ご飯	11月	紅葉ドライブ
6月	炊き込みご飯	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会※中止
8月	花火鑑賞（観月祭）	2月	食事会（鍋）/節分豆まき
9月	屋外昼食会（焼きさんま）	3月	ちらし寿司

年間取組と振り返り ※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取組	評価	振り返り
体操やレクリエーション等の利用者が楽しめる活動を通し、メリハリのある生活が送れるよう支援。	2	朝の体操・午後のレクリエーションは大体できたが、工夫が必要（パリエーションが少ない）。お口の体操は2月から実施。
リビングの壁面やテーブルに季節の花等を飾り、会話が弾むような雰囲気づくりに努める。	3	月毎の飾り付けが利用者と一緒にできた。

【家族会】

開催日：総会（平成 30 年 3 月 25 日）・総会予備日（平成 30 年 3 月 28 日）

参加人数：47 家族 58 名

平成 30 年度介護報酬改定の内容、施設での取組みを合わせて説明、報告。インフルエンザの流行、対応について報告、再発防止について説明。総会終了後、各ユニットに懇談の場を設け、入所者についてのお話や家族からの意見を伺った。

【総評】

本年度は、複数職員の施設間異動があったが、トータルケア（全国高齢者ケア研究会）の実践が年々定着して来たことを実感。特にダブルチェックや困難事例カンファレンスが定着し、結果、稼働率 97.6%と目標（97%）を達成。次年度も基本に沿ったトータルケアを実践し、2年続けての 97%以上の稼働率を目指す。

働きやすい職場づくりの一環として目標としてきた、リフレッシュ休暇 7 連休を取得。また、エルダー制による定期的な面談や内部研修の充実に努めたことにより、職員の定着と育成が図れた。中途採用職員育成の難しさを感じたが、次年度はより計画的に育成することを念頭に置きたい。

本年度は、腰痛等の体調不良を訴える職員が多かった。勉強会での移乗ケア技術の向上、リフトやフレックスボード等の器具の使用・導入で対応を図りたい。

接遇面にも課題が残った。職員が笑顔で働くことができるような言葉遣いや態度をお互い注意しながら、利用者の立場に立ったケアができるよう次年度は取り組んでいきたい。

II.（介護予防）短期入所生活介護事業（ショートステイ）

1. 重点目標の評価

「最期まで安心した在宅生活を送れるよう支援する」ために、特養でのノウハウを踏まえ総合記録シートを活用、在宅部門も含めての多職種で情報を共有し事例を検討。ユニットでの記録の見直し、観察による異常の早期発見、多職種によるアセスメントを実施。

結果として、情報の共有はもちろんのこと異常の早期発見、ケア方法の見直しにつながった。居宅介護支援事業所等への広報活動、情報サイトへの空室情報の定期的更新により、新規利用者を獲得。法人内新規事業所への異動等もあったが目標の年間平均稼働率 83%を確保することができた。

III.（介護予防）通所介護事業（デイサービス）

※（自己評価 3：達成 2：ほぼ達成 1：未達成）

取組事項		評価	振り返り
個別ケアの実施	在宅版総合記録シート活用。情報の共有による個々の体調管理サポート、きめ細やかなサービス提供を目指す。	2	<ul style="list-style-type: none"> 在宅版総合記録シートの活用は不十分。 朝礼・終礼による情報共有の実施。 送迎シートを作成。確認事項の記入によりミスが減少。
	HOL (happiness of life) の提供を目指して、クラブ活動等アクティビティの充実を図る。	3	<ul style="list-style-type: none"> 調理レクやガララヤフィットネス等の新しいアクティビティが増え、好評。 行事予定表をリニューアルし、内容が充実。
	個別機能訓練を充実させ、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。	3	<ul style="list-style-type: none"> マシーントレーニングは利用者の約 7 割実施。最初は消極的であったが、意欲的に取り組まれている。 要支援者は、運動器機能向上加算算定開始。 体力測定、体組成計測を順次実施。少しずつ改善。
	認知症の方が役割を持ち、穏やかに過ごすことができるように支援する。	2	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯物を干す事・たたむこと、炊飯作業、中庭掃除等利用者が各々役割意識を持ち意欲的に取り組まれた。

地域との交流	地域と連携して総合支援事業を実施。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館で開催の文化祭に積極的に参加。 ・三味線、琴、フラダンス、演劇等地域住民を含むボランティアの訪問件数増加。新規の問い合わせ多く好評、随時対応。
	東温市通所の会や介護ネット東温への参加によるネットワークの構築。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・東温市通所の会は開催なし。介護ネット東温の突合、交流会等への参加。 ・他事業所職員との交流により、情報交換が充実。
	ボランティアの受入れや地域（保育園・学校）、家族（男性介護者の会）との交流を増やす。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・川内保育園（1回）、川上幼稚園（1回）、川上小学校（5回）との交流を実施。 ・川上小学校のいきいき川上発表会に利用者と出席。好評。 ・男性介護者の会（おとこ塾）への参加。
職員研修	総合支援事業の研修への参加および事業所内での勉強会の充実を図る。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・東温市主催の説明会を受講。朝礼終礼で報告。 ・施設内勉強会は未実施。
	施設内・外研修に参加し、基礎介護力とサービスの質の向上を目指す。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修（基礎介護勉強会、上級介護勉強会等）へ随時参加。介護技術の振り返りや新しい技術を習得。 ・施設外研修（アンガーマネジメント、医療と介護の連携等）への参加。
	業務内容の見直し（職務分担や記録システムの改善、オペレーションシートの導入等）	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース記録と連絡帳記録用紙、計画書、企画書様式を見直し、効率化を図る。 ・オペレーションシートの活用。業務の効率化が図れ、職員の動きも把握。
安定運営の確保	毎月の実績に関心を持ち、車輛管理等のコスト意識を高める。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・部署内で毎月の実績報告をし、コスト意識などの確認。 コスト意識が高まる。 ・ドライブレコーダーの導入により車輛事故件数は激減。
	介護支援専門員と連携して、広報活動を行い、新規利用者の発掘を行う。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行事予定表をリニューアルし、PRファイルを作成。広報に活躍。 ・毎月、居宅介護支援事業所へ実績報告と行事予定表を持参し訪問。 【体験利用者 24名、新規利用者 29名】
	安定した運営のために、新たな加算取得のための管理及びコスト意識を持つ。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の実績確認と共に、加算算定要件を満たしているか確認し、部署内で実績報告。 ・利用者の軽度化により、中重度者ケア体制加算は算定不可。 ・12月より運動器機能向上加算算定開始

事故レベル	内 容	件 数
I	ミスをした、または異常なレベル	19
II	バイタル異常及び要観察レベル	0
IV	加療が必要だが軽度なレベル	0
合 計		19

・苦情処理 苦情処理件数 1件

苦情内容 ・職員への報告希望（利用者の体調不良の内容）があり、自宅で送迎時間に待機していたが職員の声掛けがなくてできなかった。送迎時には家族に声かけて欲しい。

対 応 ・責任者、在宅支援部長、担当介護支援専門員（当事業所）と訪問し謝罪。今後は、必ず送迎時に家族への声掛けを行う旨伝えた承を得、職員には朝夕の申し送り時に周知徹底した。

・事 故 インシデント（ひやり・はっと）件数 19件

IV. 居宅介護支援事業

1. 重点目標の評価

目標として地域の拠点としての事業所づくり及びケアマネジメントの質の向上を中心に登録者数の確保を目指した。居宅サービス担当月間人数は、予防 23 名、介護 105 名の目標を達成。新規受入れは年間 57 件（月平均 4.8 件）。前年度に引き続き中重度者（要介護 3.4.5）の割合が減少。施設入所により新規利用者が軽度である場合が大半であり、在宅サービス全般の軽度化がみられる。

取組事項	振 返 り
在宅生活の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所登録者の軽度化により、介護予防や認知症予防のニーズが高まり、居宅サービスと連携し重度化予防に取り組んだ。特に排せつに関する事例検討や地域サロンでの認知症やフレイル予防についての啓発活動を実施。健康状態や服薬管理を家族と共に行うことにより医療やサービス等との連携が図れた。多職種との連携を記録シートやトータルケア・アセスメントにより実施。 ・アセスメントの際、介護予防の視点から積極的にデイサービス等への参加を促せた。 ・男性介護者へのアンケートを企画しており、介護負担の軽減や地域参画を促す試みを実施。
資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・施設で実施している上級介護の研修に参加。施設外研修は法廷研修や、地域包括支援センターの事例検討、地域ケア会議等へ参加、地域包括ケアの充実に取り組んだ。 ・地域包括支援センターや行政と協力し、地区診断を行い、介護予防に関する検討を実施。 ・利用者及び家族に満足度調査を実施。概ね良好であったが、提案力やコミュニケーション能力の向上が課題。
地域活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制事業での協議体に参加し、高齢になっても住みやすい町づくりについて地域住民と一緒に検討。 ・サロン活動への参加は昨年同様、認知症や介護予防についての介護劇を実施。地域交流を図るとともに介護の知識を広げる活動を実施。

2. 苦情処理 苦情処理件数 0 件 3. 事故 事故発件数 0 件

V. 在宅介護支援センター

1. 活動実績報告

【相談件数及び内訳】

	内 訳	件 数	合 計
区分	新規	146	1,040
	継続	894	
相談区分	家族	91	1,040
	本人	796	
	関係機関	143	
	その他	10	
世帯	独居	577	1,040
	高齢者のみ	143	
	その他	320	
相談方法	電話	198	1,040
	来所	208	
	訪問（電話受付）	590	
	その他	44	

【相談内容及び対応】（重複あり）

相談内容	件 数
疾病・健康	592
介護	233
在宅・福祉サービス利用	360
入所・入院	8
経済的	4
苦情	0
その他	17

対 応	件 数
助言・指導	778
他機関連絡	129
申請代行	38
電話・訪問等での安否確認	183
ケアマネ後方支援	2

2. おとこ塾、ふれあい・いきいきサロン参加事業

	日時	サロン名	場 所	参加人数(名)	内 容
	4月8日	おとこ塾	重信川河川敷	9	お花見交流
ふ れ あ い ・ い き い き サ ロ ン	6月24日	ほほえみ	田窪公民館	65	寸劇 「介護予防について」 作業療法士による自宅でできる体操
	7月5日	にこにこ	町東公民館	9	寸劇 「介護予防について」 作業療法士による自宅でできる体操
	7月19日	なごみ	河之内	15	施設見学及び説明（昼食含む）
	8月9日	おり姫	田窪公民館	7	施設見学及び説明（昼食含む）
	9月6日	滑川	滑川改善センター	11	寸劇 「介護予防について」 作業療法士による自宅でできる体操
	10月4日	ビュクシン	樋口集会所	28	寸劇 「介護予防について」 作業療法士による自宅でできる体操 紙芝居「みーちゃんの秋」 唱歌5曲
	10月28日	井内	川東集会所	13	寸劇 「介護予防について」 作業療法士による自宅でできる体操 紙芝居「みーちゃんの秋」 唱歌
	1月24日	にこにこ	町東公民館	7	寸劇 「介護予防について」 作業療法士による自宅でできる体操 紙芝居「みーちゃんの秋」 唱歌
	合計		9か所	164	

3. その他地域関連事業

	事業名	内 容	主 催 者
地 域 関 連 事 業	介護ネット東温	加盟事業所による行方不明高齢者早期発見・ 保護を行う体制を構築するための通報捜索 訓練（当日悪天候によりメール発信のみ）	介護ネット東温
	東温市健康相談	診察相談 地域包括支援センター出張窓口 介護相談及び後方支援	東温市健康推進課
	東温市行方不明声掛け訓練	認知症の方への声掛け	東温市地域包括支援センター
	生活支援体制整備事業	第2層協議体設置（川内・重信） 川内協議体（毎月第3火曜日） 平成30年2月より実施	東温市長寿介護課
	認知症総合支援事業	認知症初期集中支援チーム勉強会	東温市長寿介護課

今年度のサロンは、介護予防の重要性をわかりやすく説明した寸劇を披露すると同時に、作業療法士による自宅でできる簡単な体操、認知症予防の大切さ（ダブルタスクトレーニング等）、紙芝居では昔懐かし唱歌を歌いながら学ぶこともでき、好評。ここ数年、少しずつ知名度も出てきており参加依頼も増加。

今年度から始まった生活支援体制整備事業は、東温市が二つの協議体を発足（川内・重信）。地域が元気になるための話し合いや情報共有の場が必要となり、顔なじみで「とにかくやってみよう」の気持ちになれるようなムード作り、きっかけづくりができるようにサポートしたい。

VI. (介護予防・障がい) 訪問介護事業 (ホームヘルプサービス)

1. 重点目標の評価

訪問介護・介護予防目標登録人数 50 名に対し、月平均 26 名。障害 10 名の目標に対し、2 名。移動支援は、1 名。引き続きヘルパー会を通して、接遇、事例検討等の学習時間を設け、全ヘルパーが各々の技量を高めていけるよう意識づけをしていく。

取組事項	振返り
在宅生活の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での安心した生活を維持するために必要な体調管理を、ケアマネやサービス事業者と情報共有し、サポート。 ・担当者会議での関係機関との情報交換。
職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外研修の参加。 ・毎月開催のヘルパー会で、専門性の向上と情報共有。 ・東温市の介護ネットへの参加。 ・訪問介護事業者の集りで意見交換や情報収集が図れた。
安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー会での安全確保に徹したサービスの提供と適切な接遇の学習。 ・広報活動を行い、新規利用者を獲得、利用者の増加を図る。

2. 苦情処理 苦情処理件数 2 件

苦情内容① ・団地の駐車場での駐車許可証の出し忘れによる苦情。

対応 ① ・責任者より、団地の民生委員及び自治会長に電話で謝罪。ヘルパー会にて周知徹底。

苦情内容② ・障害利用者の対応にする苦情。(掃除の仕方、言葉遣い等)

対応 ② ・在宅支援部長より対象利用者に電話で謝罪。担当の相談員にも報告。ヘルパー会にて周知徹底。

3. 事故 車両事故発生件数 2 件

VII. 防災・救命

【訓練実施状況】

	想定内容	日付	実施時間	参加者数	内容
総合訓練 (ガリラヤ荘)	震度 6 強 の大地震	H29.6.11 (日)	13:30 ～ 15:00	利用者 95 名 自主防役員 15 名 職員 37 名	地域自主防災会と合同訓練を実施。全体での避難訓練終了後、消防署員の指導・実演。レスキューシートを使用した場面、車椅子利用者の階段での避難誘導、簡易単価の使用訓練、小型発電機操作の確認、消火器を使用した消火訓練。
消防訓練 (東温市防災センター)	火災 地震 夜間	H29.7.24 (水)	17:30 ～ 18:30	職員 16 名	消防署員の指導により、消火・地震・煙避難等を体験。
普通救命講習 (I) (ガリラヤ荘)		H29.8.30 (水)	18:00 ～ 21:00	職員 6 名	心肺蘇生法・AED の使用方法・異物除去法・止血法等を学び、受講者全員、普通救命講習修了証を取得。
福祉避難所設置 運営訓練 (ガリラヤ荘)	南海トラフ地震	H29.11.19 (日)	8:30 ～ 12:00	職員 11 名 市職員・地域住民・ボランティア等 30 名	東温市と合同で災害発生時の福祉避難所の開設運営、避難行動要支援者の受入れ、避難支援の訓練を実施。

避難誘導、 物資移動訓練 (ガリラヤ荘)	地震・水害	H29.12.18 (水)	11:00 ～ 12:00	利用者 127 名 職員 40 名	愛媛県のシェイクアウト訓練に参加。その後、夜間帯に 50 mm以上の降雨が 1 時間以上継続し、農業用水路が越水、床上浸水発生時を想定し、避難誘導と物資の移動訓練を実施。
夜間想定 通報訓練 (ガリラヤ荘)	夜間火災	H29.12.18 (水)	20:00 ～ 20:30	職員 125 名	夜間出火想定での火災通報訓練、夜間緊急時連絡表での非常招集訓練を実施。

Ⅷ. 各委員会報告

【衛生管理委員会】・・・毎月開催

毎日の朝礼や月 1 回の委員会等で感染症についての情報提供を行い、重ねて意識付けを行うことで職員各自が感染予防の重要性を理解し、日常的に実施できるようになった。しかし、本年度は 2 度のインフルエンザの感染拡大により職員が疲弊。近年、特にインフルエンザの発生は時期を選ばない傾向にあるため、季節を問わず、通年の感染予防の必要性を痛感した。

えがお大賞投票を実施。また、年 1 回の「ストレスチェック」の実施により、結果を評価・検討し、職員と家族の心の健康づくり・活気ある職場づくりに取り組んでいく。

【褥瘡対策委員会】・・・毎月開催

褥瘡ケアマネジメント加算取得にあたり、褥瘡評価の改定・見直しを実施。委員会を中心に、よりきめ細やかな観察・対策をし、多職種での褥瘡対策に取り組む。また、日常的な予防対策を実施、褥瘡予防の知識を周知する。

【権利擁護・苦情相談委員会】・・・随時開催（平成 29 年 10 月 19 日）

平成 28 年度の苦情相談報告（1 件）及び事故等の相談報告を行い、第三者委員から助言を受けた。

平成 29 年度苦情件数 4 件

苦情内容① ・利用者への不適切な言葉遣いあり。利用者及び家族より苦情

対 応 ① ・状況を確認し、利用者にも謝罪。対応職員と面談、不適切発言について注意、指導。
生活相談員より家族へ状況説明し、謝罪。職員会、朝礼及びユニット会にて職員に周知。

苦情内容② ・試飲可能なコーヒーメーカーのデモ機を設置していたが、案内表記が不十分で、全ての家族に対する案内ができておらず、面会の家族より指摘。

対 応 ② ・デモ機設置の経緯（目的は利用者への水分補給）を説明するとともに、気分を害されたことへの謝罪。デモ機は即刻撤去。

苦情内容③ ・利用者の体調不良に関して、当日家族の面会があったにも関わらず様子を職員から伝えることができず、結果、電話での連絡（病院受診）となったことについての苦情。

対 応 ③ ・家族にまず謝罪。今後は同様の面会時には職員間で連携を取り、ユニット職員より必ず様子報告を行うこととした。朝礼等でも周知し、面会家族とのコミュニケーション、様子伝達についての意識改善に努めた。

苦情内容④ ・家族面会時に職員がマスク着用等の協力御礼の声掛けを行ったが、他の面会者には「ありがとうございます」、当該面会者には「お願いします」と聞こえた。その後、玄関のお知らせの張り紙が倒れていたことを指摘しようとしたが、対応した職員が電話対応中で通話を一時中断しなかった（土日の目直は 1 名で対応）こと等職員の対応が不適切との苦情。（書面での提出あり）

対 応 ④ ・苦情受付時に相談員が謝罪したが、改めて家族来荘時に理事長同席の上、苦情受付責任者（施設長）が内容を伺い、気分を害されたことへの謝罪。

(投書箱へのご意見)

- ① トイレトペーパーの三角折は感染予防のため、やめた方がよい。
- ② 昼食時、職員が食事をひっくり返した。代わりの新しいご飯が冷たく、温めるように伝えると職員がムツとした。
- ③ 面会に来た時に玄関を掃除していた方が挨拶も会釈もなく感じが悪い。みんな感じのいい方ばかりの中で残念。

対応 ・上記3件とも、随時朝礼などで周知し、意識改善に努めた。

【身体拘束廃止委員会・高齢者虐待防止委員会】・・・毎月開催

身体拘束件数 0件 高齢者虐待件数 0件

施設指針や虐待事例の周知、委員会での虐待事例検討を行い、虐待等が起こらない環境づくりに努めた。委員会にて定期チェックを実施。不適切ケアの確認、改善を検討。研修を新人研修の他に全職員対象に年2回実施。

【給食委員会】・・・毎月開催

栄養ケアマネジメントの実施により、利用者の摂食状況や提供方法、献立等について委託業者と検討。「人として最期まで口から食べる」ことに重きをおき、ソフト食・やわらか食の提供。経口維持加算、経口移行加算を取得。また、便秘対策のため玄米食等を継続実施。今後より一層、味・見た目共に満足していただけるソフト食の提供に努める。

【防犯対策】・・・防犯訓練（平成29年11月28日）

松山南警察署署員より不審者対応の方法、さすまたの使用方法等についての研修を実施。

【在宅委員会】・・・毎月開催

ガリラヤ荘在宅部門（居宅介護支援・通所介護・訪問介護・短期入所生活介護事業所）が情報共有や各部署間の連携を図り、地域の支えとなるシステムを構築・強化するべく、具体的な方策を協議。各部署より在宅利用者の困難事例を討議し改善を図った。

おとこ塾は、徐々に参加人数も少なくなり、今後の取り組みについてのアンケートを実施予定。ガリラヤ荘として地域を支えていくために何が必要か？どのような地域貢献できるか？活動の内容や取り組みについてわかりやすく周知・啓発に努めたい。

【安全（事故発生防止）】

事故報告件数としては、前年度と比較し増加傾向。インシデントレベル（ひやりはっと記録）が、全体の約7割程度を占めている。（2-1参照）件数には軽度の内出血（3cm以下）を含めている。アクシデントとして認めるレベルⅢ以上については23件（前年度21件）と増加。病院受診は9件。市への事故報告は4件。状況報告のあったものは介助方法を確認しての見直しや、必要に応じて怪我をする可能性のある柵やテーブルの保護等環境の見直しを行い再発防止に努めた。服薬ミス・誤薬は、8月に管理マニュアルを見直し、対応の改善を図った。マニュアルを遵守することで誤薬ゼロを目指したい。

安全委員会活動では各ユニットの事例について対応策を検討し、経過を検証。特に誤薬や服薬ミスを中心とした事例の検討を行い、原因分析を実施。再発防止に向けての対策について全体への周知に努めた。また、ポスターを各々のユニット内に掲示することで事故予防意識の高揚を図った。

全体研修のリスクマネジメント研修会では、リスクマネジメントについての理解を深めるとともにKYT（危険予測トレーニング）を実施し危険予測について学ぶ機会を持った。

1. 月別発生件数

月	特養	短期	総数
4月	45	5	50
5月	55	8	63
6月	53	7	60
7月	56	4	60
8月	65	7	72
9月	66	1	67
10月	63	8	71
11月	55	9	64
12月	47	5	52
1月	45	7	52
2月	42	4	46
3月	58	4	62
計(年)	650	69	719

(前年度 643件)

2. 内容別発生件数

内 容	件数
内出血	336
転落※2	71
転倒※1	75
その他※3	96
表皮剥離	41
裂傷	43
服薬ミス	23
異食	19
食事提供ミス	6
誤薬	5
在宅酸素ミス	2
誤嚥	2
合 計	719

※1 立上りや歩行での
転倒

※2 車椅子等からの尻もち
座り込み等

※3 バルンカテーテル抜去等
軽傷、事故危険があったもの

2-1 報告レベル内訳

レ ベ ル	件数
I (ミスをしたまたは異常なし)	510
II (バイタル異常及び要観察)	186
III (治療が必要だが軽度)	14
IV (受診または入院加療が必要)	9
合計	719

インシデント(ひやり・ほっと)レベル
インシデント及びアクシデントレベル
アクシデントのみ
市町事故報告

2-2 病院受診を行ったケース・・・9件

内容	件数	発生率
転倒	5	6.7%
転落	1	1.4%
傷	1	2.3%
(柵にぶつけた)	1	1.0%
(移動時足が落ちていた)	1	1.1%
合計	9	

(前年度 14件)

2-3 市町事故報告届け出件数

内容	報告日	件数	備 考
転倒	5月9日	1	歩行杖(右上胸近位端骨折) 【特養】
他	5月16日	1	ベッド臥床(胸骨骨折) 【特養】
他	7月12日	1	車椅子移動(右膝靭帯骨折) 【短期】
誤薬	8月30日	1	食事後発見 【短期】
合計		4	※前年度10件

3. 発生(発見)場所件数

場 所	件数	発生率
居室	392	61.0%
リビング	151	23.5%
浴室	92	14.3%
脱衣室	33	5.1%
居室トイレ	42	6.5%
廊下	4	0.6%
他	5	0.8%

4. 発生(発見)状況件数

内 容	件数	発生率
ベッド上(ベッド臥床・ベッド端座位)	134	20.8%
車椅子上(車椅子座位・車椅子立上がり)	68	10.6%
ソファ上(ソファ座位・ソファ立上がり)	13	2.0%
椅子(椅子座位・椅子立上がり)	10	1.6%
床(床・床座位)	41	6.4%
移乗(車椅子移乗・ベッド移乗)	27	4.2%
入浴個浴(入浴木・入浴ポランテ・シャワー)	67	10.4%
入浴特浴	45	7.0%
更衣	29	4.5%
排泄(オムツ)	72	11.2%
排泄(トイレ)	58	9.0%
排泄PWC	9	1.4%
移動歩行(歩行・歩行独歩・歩行杖・歩行器)	40	6.2%
移動車椅子	7	1.1%
移動這う(床這い移動)	10	1.6%
食事(前・中・後)	52	8.1%
その他(他・臥床)	37	5.8%

IX. 行事・施設内研修・実習受入の状況

月	施設行事等	施設内研修	実習受入
4	入職式 永眠者記念会 おとこ塾（花見）杖ノ淵公園	入職者研修（久米合同） 新人研修懇親会 介護職対象ミーティング	
5	東温防火管理連絡協議会 福祉の仕事1日体験打ち合わせ会 杖ノ淵公園外出 ガリ久米内覧会・落成式・開設	入職者研修（久米合同） リスクマネジメント研修	河原医療学内説明会 河原学園合同就職説明会
6	A L S O K 火災報知器点検 花の日訪問（松山東雲短期大学付属幼稚園） 防災訓練（南方東自主防災会合同）	トータルケア勉強会（泉田氏） 食中毒勉強会 基礎介護勉強会（認知症）	
7	東温高校奉仕活動 消防訓練（東温市防災センター）	身体拘束・虐待防止研修 基礎介護勉強会（排泄）	聖カタリナ大学就職説明会 東温高校介護職員初任者研修 愛媛大学介護等体験
8	ねたきりになら連踊り披露 夏休み職場体験（川中） しあわせのつどい（国際ホテル） 入居者レントゲン健診 親月祭 GHやわらぎ夏祭り	上級介護勉強会（排泄） 普通救命講習	松山東雲女子大学社会福祉士実習
9	東温市長一日施設長就任・赤ちゃんご贈呈式 防災研究・研修会 介護ネット意見交換会（芋炊き） 東温消防査察	医療行為フォローアップ 口腔ケア勉強会 トータルケア勉強会（泉田氏） ストレスマネジメント勉強会	愛媛大学医学部介護体験 河原医療大学老年看護学実習
10	運動会 秋祭（松瀬川獅子舞保存会施設訪問）（緑地区復興・森強固） 衆議院議員選挙・不在者投票 情報公表 苦情委員会（ガリ久米合同） ガリ久米監査 WAX掛け・カーテンクリーニング	看取り研修会 基礎介護勉強会（食事）	河原医療福祉専門学校介護実習 愛媛大学医学部看護科老年看護学実習 松山城南高等学校介護実習
11	東温市文化祭出展・見学・バザー購入 感謝祭（第5回） 福祉避難所設置運営訓練 塩ヶ森ドライブ（SS） 収穫感謝訪問（松山東雲短期大学付属幼稚園） 松山南署防犯訓練 互助会	看取り勉強会 基礎介護勉強会（移乗） 感染症勉強会 排泄勉強会（梶原氏）・リーダー研修会	河原医療福祉専門学校介護実習 東温高等学校インターンシップ 愛媛大学医学部看護科老年看護学実習 松山城南高等学校介護実習
12	東温市社協共同募金歳末施設訪問 職員会 東温市婦人会歳末訪問・車椅子清掃 シェイクアウトえひめ避難訓練 栄光協会クリスマスキャロル	トータルケア勉強会（泉田氏） 上級介護勉強会（下剤） 勉強会（法令順守） ハセツパー水勉強会	松山城南高等学校介護実習 四国学院大学研修 愛媛大学介護体験 愛媛大学医学部看護科老年看護学実習 ハローワーク見学 久谷荘看取り見学
1	*インフルエンザ流行	第3回実践事例発表会	松山城南高等学校介護実習
2	介護ネット交流会（魚政） 東温市歯科医師会研修会 福祉避難所協定式	身体拘束・虐待防止研修 排泄勉強会（梶原氏）・リーダー研修会 口腔ケア（応用）勉強会	松山大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学介護実習 ケアプランセンターあったか見学
3	家族会総会 介護相談員合同連絡会 職員会 出初式 介護報酬改正・施設長研修会 介護報酬改正事業所説明会	リスクマネジメント勉強会 看取り（死生観）勉強会 トータルケア勉強会（泉田氏） 新人職員事前オリエンテーション デイパワーリハ研修会	聖カタリナ大学介護実習 松山大学社会福祉士実習 東雲大学実習連絡会
	通年	委員会等活動	クラブ活動
その他	毎月・誕生屋食会 おやつ、お茶の時間（毎日） 訪問理容 東温市移動図書館「かぼちゃん号」 医師の回診 嘱託医4名 往診医5名（河野・石山・菅野歯科 /石川・まえおか眼科） 訪問販売（セブンスターとくし丸・パン2社） 訪問マッサージ	運営委員会 安全（事故発生防止）委員会 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 在宅委員会 入所判定委員会*毎月実施に変更 デイ定例会	陶芸（隔週水曜日）・習字（月1回・不定） 俳句会（第4水曜日）・音楽（各ユニット月1回） 繕布クラブ（第1火曜） ボランティア・その他 喫茶ベリーベリー（随時） 紙芝居ボランティア（月1回デイ・特養・SS不定） 介護相談員（基本：第1火曜日） 山内さんのボランティア（第3水曜日） 傾聴ボランティア“笑顔に会いたい”（第4金曜日） トーンチャイムレインボー（季節毎・第2金曜日） オカリナそよ風（季節毎・火曜日） 他

X.研修の状況【施設外研修】

研修内容	全体		特養・ショート		デイサービス		在支・居宅介護		ホームヘルプ		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数計	人数計
介護	0	0	4	11	0	0	0	0	0	0	4	11
看護・保健・医療	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	6	6
防災・防犯	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
人材育成・マネジメント	1	1	2	4	2	2	1	2	0	0	6	9
専門（スキル向上・資格等）	0	0	1	3	1	1	15	27	3	3	20	34
行政（介護保険・制度他）	3	3	5	5	1	1	8	10	5	6	22	25
財務会計	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6
人事・労務管理	11	12	0	0	0	0	0	0	0	0	11	12
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	22	24	18	29	4	4	24	39	8	9	76	105

XI. 職員の状況

(単位：名)

部門等	前年度末	平成29年度当初			平成29年度中の状況			平成29年度末	常勤換算(年度末雇用契約)
		退職 (29.3.31付)	入職/異動 (29.4.1付)	4月1日現在	入職	異動	退職		
特養+ショート	97	-3	12	106	8	【-13】	-9	92	75.3
(介護職員)	69	-3	10	76	4	【-8】	-5	67	55.4
(看護職員)	9	0	1	10	1	【-2】	-1	8	6.7
(その他)	19	0	1【-1】(+1)	20	3	【-3】	-3	17	13.2
デイ	18	-1	1(-1)	17	2	【-2】	-3	14	11.9
支援+居宅	5	0	(+1)	6	0	【-1】	0	5	5
ヘルパー	10	0	(-1)	9	1	0	0	10	5.5
計	130	-4	12	138	11	-16	-12	121	97.7

- ・育児休業取得者（2名）は常勤換算数には含めず
- ・異動（ ）は施設内異動、【 】は法人内異動を表示
- ・医師等嘱託契約者の数は上記に含めず

【医師4名、歯科医師1名、歯科衛生士1名、理学療法士2名（内デイ1名）
作業療法士2名（デイ）】

XII. サービス別 利用状況一覧

特別養護老人ホーム 定員80名・8ユニット(1ユニット定員10名)

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均		
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
総計	平均介護度	4.1	4.13	4.12	4.14	4.15	4.15	4.13	4.09	4.16	4.16	4.19	4.15	4.14	
	延べ利用人数	2,352	2,461	2,366	2,378	2,412	2,350	2,446	2,328	2,393	2,379	2,168	2,422	28,455	
	平均利用人数/1日	78.40	79.39	78.87	76.71	77.81	78.33	78.90	77.60	77.19	76.74	77.43	78.13	78.0	前年度
	稼働率	98.0%	99.2%	98.6%	95.9%	97.3%	97.9%	98.6%	97.0%	96.5%	95.9%	96.8%	97.7%	97.45%	【96.06%】

ショートステイ 定員20名・2ユニット(1ユニット定員10名)

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均		
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
要介護	利用実人数	36	30	37	28	33	28	38	36	36	31	33	32	33.17	
	利用延べ人数計	505	574	530	403	533	500	496	498	522	460	444	524	5,989	
	平均介護度	2.93	2.72	2.45	2.63	3.08	3.00	2.88	2.70	2.69	2.63	2.61	2.71	2.75	前年度
	平均利用人数/1日	16.83	18.52	17.67	13.00	17.19	16.67	16.00	16.60	16.84	14.84	15.86	16.90	16.41	【17.19】
要支援	利用実人数	3	2	1	1	3	2	2	3	3	0	4	2	2.17	
	利用延べ人数	12	6	3	3	9	7	7	9	3	0	4	10	73	前年度
	平均利用人数/1日	0.40	0.19	0.10	0.10	0.29	0.23	0.23	0.30	0.10	0.00	0.14	0.32	0.20	【0.25】
総計	延べ利用人数	517	580	533	406	542	507	503	507	525	460	448	534	6,062	
	平均利用人数/1日	17.23	18.71	17.77	13.10	17.48	16.90	16.23	16.90	16.94	14.84	16.00	17.23	16.6	前年度
	稼働率	86.2%	93.5%	88.8%	65.5%	87.4%	84.5%	81.1%	84.5%	84.7%	74.2%	80.0%	86.1%	83.05%	【87.16%】

デイサービス 利用定員35名

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均		
稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	27	24	27	313		
要介護	利用実人数	63	67	61	61	60	60	62	61	62	58	52	56	60	
	利用延べ人数	621	701	648	637	631	617	635	596	621	559	499	564	7,329	
	平均介護度	1.84	1.87	1.91	1.93	1.90	1.92	2.01	2.03	1.94	2.00	2.03	2.02	1.95	前年度
	平均利用人数/1日	24.84	25.96	24.92	24.50	23.37	23.73	24.42	22.92	23.88	20.70	20.79	20.89	23.41	【23.75】
要支援	利用実人数	16	13	13	16	17	17	18	21	20	21	20	20	17.7	
	利用延べ人数	100	87	95	102	112	122	127	131	124	112	103	119	1,334	前年度
	平均利用人数/1日	4.0	3.22	3.65	3.92	4.15	4.69	4.88	5.04	4.77	4.15	4.29	4.41	3.94	【3.22】
総計	利用延べ人数	721	788	743	739	743	739	762	727	745	671	602	683	8,663	
	平均利用人数/1日	28.84	29.19	28.58	28.42	27.52	28.42	29.31	27.96	28.65	24.85	25.08	25.30	27.68	前年度
	稼働率	82.4%	83.4%	81.6%	81.2%	78.6%	81.2%	83.7%	79.9%	81.9%	71.0%	71.7%	72.3%	79.08%	【76.94%】

居宅介護支援事業所

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
介護支援専門員数		5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.1 前年度
要介護	介護 利用人数	118	117	107	100	103	101	96	106	106	102	101	103	105.0 【108.7】
	介護 稼働率	84.3%	83.6%	76.4%	71.4%	73.6%	72.1%	68.6%	75.7%	75.7%	72.9%	72.1%	73.6%	75.0% 前年度
要支援	予防 利用人数	29	29	29	32	31	31	30	30	31	32	33	30	30.6 【23.0】
	予防 稼働率	90.6%	90.6%	90.6%	100.0%	96.9%	96.9%	93.8%	93.8%	96.9%	100.0%	103.1%	93.8%	95.57% 前年度
総計	介護+予防 利用人数	147	146	136	132	134	132	126	136	137	134	134	133	135.6 【131.7】
	介護+予防 稼働率	85.5%	84.9%	79.1%	76.7%	77.9%	76.7%	73.3%	79.1%	79.7%	77.9%	77.9%	77.3%	78.83%
新規利用人数		8	5	3	1	4	5	4	7	5	4	9	2	4.8
訪問調査件数		1	6	6	6	8	4	6	6	6	5	6	7	5.6
営業訪問先		12	5	7	5	4	5	4	5	5	5	3	4	5.3

訪問介護

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
要介護	利用実人数	17	15	16	16	16	15	18	19	16	15	12	14	15.8
	利用延べ訪問件数	389	300	338	403	381	334	465	462	443	376	292	408	4,591
	平均介護度	2.2	2.5	2.6	2.5	2.6	2.6	2.4	2.4	2.4	2.6	2.7	3.0	2.5
要支援	利用実人数	9	7	7	5	4	4	3	1	1	1	0	0	3.5
	利用延べ訪問件数	67	58	54	42	35	31	18	8	8	7	0	0	328
障害	実人数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
	訪問回数	26	35	39	37	35	35	35	36	34	36	34	36	418
移動支援	実人数	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.1
	移動支援延べ件数	5	2	2	3	2	0	1	4	3	3	1	2	28
総合事業/要支援	利用実人数	2	4	4	6	7	7	8	9	9	9	10	12	7
	利用延べ訪問件数	10	24	20	35	35	38	45	55	64	56	61	78	521 前年度
総計	実人数	32	29	30	30	30	29	32	32	29	28	25	29	29.6 【29.2】

2017年度(平成29年度)
ガリラヤ久米 事業報告

〔事業の種類〕

I. 小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)	定員 29名
II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)	定員 10名
III. グループホーム(〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護)	定員 18名
IV. 介護付有料老人ホーム(〔介護予防〕特定施設入居者生活介護)	定員 35名(30室)
V. デイサービス(地域密着型通所介護)	定員 15名
VI. デイサービス(介護予防通所サービス)	
VII. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	

1.ガリラヤ久米(全体)※新規開設年度による

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り安心して生活できる施設づくり	① 新規採用スタッフの基礎介護力を高め、専門職が連携し、統一したケアの提供。 ■ 内部研修(基礎介護研修)開催 [全8回] ■ 運営委員会の開催 [全8回 ※毎月] ■ 朝礼(全体)の開催 [月～土] ② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止の徹底。 ■ 身体拘束・虐待防止委員会開催 [全8回 ※毎月] ■ 内部研修(拘束虐待防止)開催 [全2回] ③ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症予防の徹底(集団発生0件目標) ■ 衛生管理委員会開催 [全8回 ※毎月] ■ 内部研修(感染症)開催 [全2回]
在宅生活の支援	① 地域関係機関と連携し、地域の福祉ニーズを捉えて地域包括ケアを推進。 ■ 地域包括支援センターとの連携[各種会議・研修参加] ② 職員の地域活動推進(必要なニーズの調査、支援可能な体制の調整) ③ 在宅生活をトータル的にサポートするために、在宅版総合記録シートを導入した在宅部門の連携。 ■ 未実施
広報活動の充実	① ホームページ・SNSによる積極的な情報の配信、施設見学の受入と関係事業所への営業活動。 ■ ホームページ・SNS(Twitter・Facebook)の定期更新の実施。Google ストリートビューの活用。 ■ 施設見学受入対応 [毎日(予約含む)] ■ パンフレット作成に向けた準備継続 ② 地域住民参加イベント企画・ボランティア活動の受入など計画的に実施。 ■ イベント未実施 ■ ボランティア活動受入[久米中学校、どれみ保育園、高齢クラブ、民間団体等]
やりがいを感じ働きやすい職場づくり	① ガリラヤ久米スタッフ心得の徹底と、職員育成の推進 ② 新規スタッフの離職ゼロを目指し、きめ細やかな面談実施及びフォローアップ体制の整備 ■ 内部研修(職員会)開催 [全5回] ■ ストレスチェックの実施(8月)NPO ころも塾との従業員支援事業委託の締結

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人事考課・面談の実施(11月) ■ 第1回部門別笑顔大賞投票実施(3月)
安定運営の確保	<p>① 事業所毎の目標数値設定とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理。</p> <p>② 施設運営に関わる財務・組織・事業管理における基盤の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 運営委員会での実績確認及び検討 [全8回] ■ 運営会議(ガリラヤ荘:部課長会議)での検討 [全12回]

2. I .小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

2-1 入所者の状況(平成30年3月31日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(平成30年3月末現在53名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
8	27	35	1	5	6

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	7	22	29
平均年齢	85.4	86.5	86.2
最高齢	91	101	-
最年少	79	67	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	0	0
2	0	1	1
3	2	7	9
4	4	9	13
5	1	5	6
平均	3.29	3.81	3.76

2-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延人数
4月	-	-
5月	1	1
6月	5	33
7月	7	87
8月	4	86
9月	5	33
10月	3	64

	実人数	延人数
11月	5	39
12月	5	48
1月	3	51
2月	1	11
3月	2	34
合計	41	487
月平均	3.7	44.3

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度
肺炎	5
心疾患	3
脳梗塞	3
尿路感染	1
腸閉塞	1
骨折	1
食欲不振	2
肝機能低下	1
腎機能低下	1
その他	6
合計	24

【医療管理状況】

医療行為	今年度
胃ろう	2
在宅酸素療法	0
人工肛門	0
尿道留置カテーテル	1
インシュリン注射	0
痰の吸引(常時)	0
合計	3

※緊急搬送回数 0回 (前年度 1回)

2.-3 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<<全部門>> ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ 多職種協働による「状態確認(ダブルチェック)」と「ケアの方法検討(カンファレンス)」の実践 ■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。 ■ 多職種連携室の運用により、情報共有の拠点とした、各ミーティング等の実践。
イベント企画	<<全部門>> ■ イベント開催 8月(そうめん流し/すいか割り)9月(食事会:いもたき)10月(お団子づくり)11月(手作り喫茶)12月(忘年会/クリスマス会)1月(新年会)2月(節分まめまき)3月(甘酒づくり) ■ 100歳祝い誕生日会
環境整備	<<全部門>> ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進
研修運営	<<全部門>> ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(入職者対象開設前研修)5月(メンタルヘルス)10月(看取り)11月(感染症)(法令順守)1月(拘束虐待防止)3月(リスクマネジメント) ■ 基礎介護勉強会の開催 9月(食事ケア)11月(認知症ケア)12月(排泄ケア)2月(移乗移動ケア)

2.-4 運営推進会議の状況 ※)グループホームと合同開催

開催日等	内容
第1回 平成29年9月25日 10:00~11:15	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価

出席者 11名 職員 7名	③ 要望、助言等
第2回 平成29年11月22日 10:00～11:00 出席者 7名 職員 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第3回 平成29年1月22日 10:00～11:00 出席者 6名 職員 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 感染症予防の状況と対応について
第4回 平成30年3月26日 10:00～11:30 出席者 9名 職員 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 施設の食事紹介(説明・試食会)

《総評》

5月25日開設後、入所者の受入について計画的に行うことができた。開設に伴う、新規採用者中心の中、入所者が穏やかに生活できるよう、各専門職、ユニットリーダーを中心に入所者の状態把握に努め、ケアの検討を行い、また基礎介護勉強会の実施により、基礎介護レベル向上を課題に挙げ取り組みを行った。目標稼働率については90%に対し、86.7%の結果であった。これについては、年度途中からの開設及び新規入所者の計画的な受入を行ったことが影響している。ただし入院者が多数みられた時期もあり、基礎介護力の向上を引き続き継続していきたい。

3. II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)

3-1 利用状況(平成30年3月31日現在)

【利用状況】稼働日数 284日

延べ人数	男	女	計
予防短期通所	0	11	11
短期通所	703	1259	1962
合計	703	1270	1973
平均利用者数	2.6	4.6	7.2

延べ人数	男	女	計
石井・久谷	105	213	318
小野・久米	147	259	406
桑原・道後	221	347	568
城西・勝山	2	138	140
西	-	128	128
東拓南	-	20	20
東温市	10	165	175
砥部町	218	-	218
合計	703	1270	1973

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	0	5	5
要支援 2	0	6	6
要介護 1	221	113	334
2	66	259	325
3	114	117	231
4	267	361	628
5	35	409	444
平均	2.8	3.5	3.3

《総評》

5月25日開設後、全事業所の入居受入を優先することで、7月からの利用開始とした。目標稼働率80%に対し、71.1%の結果であった。定期の利用者も増加傾向にあることで、稼働状況としては定着してきていると考える。引き続き、情報サイトの活用や、居宅介護支援事業所への広報活動を行い、新規利用者の確保に努めていきたい。ケア方法については一人ひとりにあった支援を丁寧に行えるよう情報共有の徹底を図っていきたい。

4.Ⅲ.グループホーム(〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護)

4-1 入居者の状況(平成30年3月31日現在)

【入居・退居状況】

待機者数(平成30年3月末現在11名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
8	13	21	2	1	3

【年齢構成】

	男	女	全体
入居者数	6	12	18
平均年齢	87.3	90	89.1
最高齢	89	96	-
最年少	85	85	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	1	7	8
2	3	0	3
3	2	3	5
4	0	2	2
5	0	0	0
平均	2.17	2	2.06

4.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延人数
4月	0	0
5月	0	0
6月	2	22
7月	1	22
8月	2	18
9月	3	18
10月	1	31

	実人数	延人数
11月	2	43
12月	1	31
1月	1	29
2月	1	19
3月	1	11
合計	15	244
月平均	1.4	22.2

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度
肺炎	1
心疾患	1
脳梗塞	1
腎機能低下	1
骨折	1
その他	3
合計	8

※緊急搬送回数 0回 (前年度 -回)

4.-3 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<<全部門>> ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。 ■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応の基盤整備
イベント企画	<<全部門>> ■ イベント開催 7月(喫茶店外出)8月(ボエム工場ドライブ、夏祭り)9月(花きセンタードライブ、見奈良クールスモールドライブ)10月(運動会)11月(紅葉ドライブ)12月(クリスマス会、忘年会)1月(新年会)2月(節分)3月(ひな祭り)
環境整備	<<全部門>> ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進
研修運営	<<全部門>> ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(入職者対象開設前研修)5月(メンタルヘルス)10月(看取り)11月(感染症)(法令順守)1月(拘束虐待防止)3月(リスクマネジメント) ■ 基礎介護勉強会の開催 9月(食事ケア)11月(認知症ケア)12月(排泄ケア)2月(移乗移動ケア)

4-4 運営推進会議の状況 ※)小規模特別養護老人ホームと合同開催

開催日等	内容
第1回 平成29年9月25日 10:00～11:15 出席者 11名 職員 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第2回 平成29年11月22日 10:00～11:00 出席者 7名 職員 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第3回 平成29年1月22日 10:00～11:30 出席者 6名 職員 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 感染症予防の状況と対応について
第4回 平成30年3月26日 10:00～11:00 出席者 9名 職員 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 施設の食事紹介(説明・試食会)

《総評》

5月25日開設後、入所者の受入について計画的に行うことができた。毎日の生活の中で、レクリエーションや体操を毎日実施することを目標にケアスタッフの意識付けを行い、概ね達成することができた。また入居者とフロアの掲示物づくりや花を生けるなど、季節感を感じてもらえる支援に努め、穏やかで安らげる環境整備ができた。目標稼働率については90%に対し、91.1%の結果であった。これについては、年度途中からの開設及び新規入所者の計画的な受入を行ったことが影響している。ただし病状の悪化による入院者や急変による退居を経験し、ケアスタッフの基礎介護職の向上や重度化に向けた対応を今後の課題として取り組んでいきたい。

5.IV.介護付有料老人ホーム((介護予防)特定施設入居者生活介護)

5-1 入居者の状況(平成30年3月31日現在)

【入居・退居状況】

待機者数(平成30年3月末現在39名)

出身地 保険者	保険者別入居者数			平成29年度中の移動状況					
				入居			退居		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
松山市	4	13	17	4	13	17	0	0	0
東温市	1	5	6	1	5	6	0	0	0
砥部町	0	1	1	0	1	1	0	0	0
伊予市	0	1	1	0	1	1	0	0	0
西条市	2	1	3	2	1	3	0	0	0
新居浜市	1	0	1	1	1	2	0	1	1
宇和島市	1	1	2	1	1	2	0	0	0
福津市	0	1	1	0	1	1	0	0	0
合計	9	23	32	9	24	33	0	1	1

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	9	23	32
平均年齢	88.8	86.7	87.3
最高齢	96	96	-
最年少	84	76	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
自立	0	0	0
要支援 1	0	2	2
要支援 2	1	4	5
要介護 1	5	14	19
2	2	2	4
3	1	1	2
4	0	0	0
5	0	0	0
平均	1.5	1.23	1.32

5.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延人数
4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	2	31
8月	3	39
9月	1	4
10月	2	22

	実人数	延人数
11月	2	31
12月	3	31
1月	0	0
2月	2	35
3月	4	64
合計	19	257
月平均	1.73	23.4

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度
肺炎	1
心疾患	2
腎盂腎炎	2
骨折	2
胃潰瘍・胃腸炎	2
その他(癌含)	6
合計	15

【医療管理状況】

医療行為	今年度
胃ろう	0
在宅酸素療法	1
人工肛門	1
尿道留置カテーテル	1
インシュリン注射	1
痰の吸引(常時)	0
合計	4

※緊急搬送回数 1回 (前年度 -回)

5-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。 ■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応の基盤整備
イベント企画	《全部門》 ■ イベント開催 7月(すいか割り)8月(七夕、四国医療主催しあわせの集い外出、花火鑑賞(三津・東温市)、そうめん流し)9月(花火鑑賞(森松)、コスモドライブ、敬老会、おはぎづくり)10月(秋祭り、紅葉ドライブ(奥道後))11月(砥部焼絵付け体験)12月(焼芋づくり、クリスマス会、お餅つき)1月(初詣(椿神社))2月(節分豆まき、握りずし、梅ドライブ(砥部))3月(ひな祭り、菜の花ドライブ(見奈良)) ■ 散歩・ショッピング(定期)、誕生会(毎月)、ボランティア受入
環境整備	《全部門》 ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進
研修運営	《全部門》 ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(入職者対象開設前研修)5月(メンタルヘルス)10月(看取り)11月(感染症)(法令順守)1月(拘束虐待防止)3月(リスクマネジメント) ■ 基礎介護勉強会の開催 9月(食事ケア)11月(認知症ケア)12月(排泄ケア)2月(移乗移動ケア)

《総評》

5月25日開設後、入所者の受入について計画的に行うことができた。目標稼働率については80%に対し、73.5%の結果であった。これについては、年度途中からの開設及び新規入所者の計画的な受入を行ったことが影響している。心身的に軽度の入居者が多い中、日々の生活において活動的な余暇ができるよう、散歩・日々のレクリエーション活動や外出などを定期的実践することができた。一人ひとりのニーズに合わせることは、非常に課題もあるが、家族や親族の協力を得ながら個別支援についても配慮できるよう努めていきたい。平均年齢や既往歴からみた状態・状況として、段階的に介護が必要になる可能性は非常に高く、今後スタッフの基礎介護力の向上また、住環境面での工夫等を検討していくことが必要である。

6. V. デイサービス(地域密着型通所介護)

VI. デイサービス(介護予防通所サービス)

6-1 利用者の状況(平成30年3月31日現在)

【利用状況】稼働日数 288日

延べ人数	男	女	計
地域密着通所	466	970	1,436
介護予防通所	121	497	618
	587	1,467	2,54
平均利用者数	2.0	5.1	7.1

登録者人数	男	女	計
石井・久谷	3	12(15)	15(18)
小野・久米	4(6)	15(20)	19(26)
桑原・道後	2	2	4
城西勝山	0(2)	3	3(5)
東拓南	0	3	3
合計	9(13)	35(43)	44(56)

※)()…中止者を含む

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援 1	31	368	399
要支援 2	90	129	219
要介護 1	40	386	426
2	199	278	477
3	110	143	253
4	117	163	280
5	0	0	0
平均	2.2	1.5	1.7

6.-2 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
個別ケアの実施	<p>① 居宅生活アセスメント及び体力測定を実施し情報の共有を行い、きめ細かなサービスを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 体力測定の実施し、結果の報告(家族及びケアマネジャー) ■ 体力測定結果に合わせた、マシントレーニングの見直し <p>② HOL(happiness of life)の提供を目指して、クラブ活動等アクティビティの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 参加型レクリエーションの実施 <p>③ マシントレーニングを含む個別機能訓練を充実させ、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者の状態・状況に合わせたマシントレーニングメニューの設定 ■ トレーニング成果の報告(見える化)による継続の働きかけ
地域との交流	<p>① 地域と連携し、地域包括ケアの促進を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域連絡会への参加 <p>② ボランティアの受入れや地域(保育園・学校等)、家族との交流を増やす。</p> <p>③ 地域との交流を行い、地域の行事等へ積極的に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 久米中学校職場研修受入。どれみ保育園園児との交流活動の実施 ■ 秋祭り(神輿・獅子舞)施設訪問参加
職員研修	<p>① 総合事業の研修への参加、及び事業所内での勉強会の充実を図る。</p> <p>② 施設内・外研修に参加し、基礎介護とサービスの質の向上を目指す。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市主催の説明会への参加 ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(入職者対象開設前研修)5月(メンタルヘルス)10月(看取り)11月(感染症)(法令順守)1月(拘束虐待防止)3月(リスクマネジメント) ■ 基礎介護勉強会の開催 9月(食事ケア)11月(認知症ケア)12月(排泄ケア)2月(移乗移動ケア) <p>③ 職員の適材適所を図り、職務分担を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オペレーションシートに基づく業務分担の実施
安定運営の確保	<p>① 毎月の実績に関心を持ち、車両管理等のコスト意識を高める。</p> <p>③ 安定した運営のために、管理及びコスト意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ デイサービス会議(毎月実施)での現況報告及び検討 <p>② 介護支援専門員と連携し、広報活動を行い新規利用者の発掘を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 近隣地域及び関係先へのポスティング及び挨拶まわり ■ 各事業所ケアマネジャーとの情報共有 ■ 地域包括支援センターとの連携

6-3 運営推進会議の状況

開催日等	内容
第1回 平成29年11月22日 11:00~11:45 出席者 12名 職員 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 運動器具紹介と説明
第2回 平成30年3月26日 11:00~11:30 出席者 7名 職員 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 運動実地による改善例報告 ⑤ 施設の食事紹介(説明・試食会)

6-4 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	
ヒヤリハット件数	9	

《総評》

利用者獲得のための取組として、居宅介護支援事業所への情報発信やあいさつ回りを積極的に行い、体験者利用者へのお礼状など、獲得に向けた工夫に努めることができた。

また利用開始後は、利用者の運動機能を把握するために、体力測定を定期的に行い、意欲向上につながる報告への工夫や継続してトレーニングできる環境づくりに努めることができた。今後も地域への情報発信につとめ、楽しさや元気につながるサービスを検討していきたい。

7. VII.居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

7.-1 利用者の状況(平成 30 年 3 月 31 日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当月間人数 予防 14 件 介護 17 件

登録者	予防		介護	
	男	女	男	女
小野・久米	2	4	2	6
東・拓南	0	3	0	0
石井・久谷	0	2	1	2
桑原・道後	0	1	1	1
城西・勝山	0	2	0	0
西	0	0	0	1
東温市	0	0	0	2
伊予市	0	0	1	0
計	2	12	5	12
	14		17	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	2	10	12
要支援 2	0	2	2
要介護 1	2	6	8
2	0	2	2
3	0	1	1
4	3	0	3
5	0	3	3
計	7	24	31

7.-2 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	<p>① 在宅版総合記録シートやアセスメント表を活用し、自宅で安心して生活できるためのトータルケアを、サービス事業所と協働して行う。</p> <p>② 総合事業を理解し、住民主体で生きがいや役割を持った生活が送れるようマネジメントを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ アセスメントシートを活用した服薬状況・副作用・身体状況・認知症状況の理解とサービス事業への情報共有と支援の実施 <p>③ 地域包括支援センター等が主催する勉強会や地域活動の情報を収集し、社会資源を取り入れたマネジメントを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域包括支援センターによる勉強会への参加 ■ 地域医療機関による勉強会への参加
資質向上	<p>① 事業所内・外の研修に参加し、基礎介護やマネジメント等の在宅生活に必要な知識向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(入職者対象開設前研修)5月(メンタルヘルス)

	<p>10月(看取り)11月(感染症)(法令順守)1月(拘束虐待防止)3月(リスクマネジメント)</p> <p>■ 基礎介護勉強会の開催 9月(食事ケア)11月(認知症ケア)12月(排泄ケア)2月(移乗移動ケア)</p> <p>② 総合支援事業に円滑に移行できるよう情報収集をするとともに、地域に必要なサービスの提案を行う。</p> <p>■ 地域包括支援センター、社会福祉協議会、各医療機関主催の勉強会への参加</p>
地域活動への参加	<p>② 勉強会や研修会等の市内関係機関の活動へ積極的に参加し、地域包括ケアの促進を図る。</p> <p>③ 地域サロン活動の支援・交流を行い、地域の実情を把握するとともに、施設の周知を行う。</p> <p>■ 地域ケア会議や地域の交流会への参加による社会資源の理解や意見交換の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小野地区交流会(地区住民とケアマネジャーが地元の将来を一緒に考える) ・久米地区交流会(久米のお宝さがしと課題) ・小野地区地域ケア会議(ケアマネジャーの役割について、小野地区の目指す地域の在り方について、民生委員、地区社協とケアマネジャーが共同できる活動について)

7-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

《総評》

5月25日開設後、新規の相談が少しずつ増えてきているが、目標達成には至らなかった。介護保険窓口の機能として包括支援センターと連携を取り、また積極的に地域へ情報発信することで、地域の特性を理解し、利用人数の増加に努めたい。また包括支援センターや医療機関主催の会議、研修等に積極的に参加し事業所間の連携強化に努めていきたい。

8.各部門報告(委員会活動を含む)

8-1 防災活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
消防訓練 ・火災	H29年9月29日 10:00~11:30	松山市南消防署東部支所、利用者、職員	松山市南消防所東部支所立ち合いの元、施設内の消防設備の確認・点検の実施。消防設備の使用方法的の講義。消火器を使用した消火訓練の実施。
総合訓練 (シェイクアウトえひめ参加) ・地震 ・火災 ・水害	H29年12月18日 11:00~12:00	利用者、職員	「シェイクアウトえひめ」に合わせて全館放送及び安全確保行動の実施。中予老人福祉施設協議会での災害発生伝達訓練の実施。消火器・散水栓の設置場所・使用方法の確認。床上浸水を想定した避難誘導、物資移動訓練の実施。
夜間通報訓練 ・夜間災害	H29年12月18日 20:00~21:00	職員	夜間火災想定のお知らせ及び非常招集訓練の実施。

8.-2 感染症対策

① 衛生管理委員会の開催(毎月)

朝礼や、委員会内において、感染症の動向について情報提供を行い、研修での感染予防の意識付けを実施し、日常的な予防策を継続することができた。その結果感染拡大の発生を防ぐことができたと考ええる。

また、ストレスチェックの実施、結果を評価・検討し職員と家族の心の健康づくり・活気ある職場づくりの推進を継続する。

② 感染症報告

<インフルエンザ>

利用者1名(感染ルート:家族の面会)及び職員の罹患があったが、感染マニュアルに従って拡大予防の徹底により、集団感染を予防することができた。

	利用者					職員				
	GH	特養	SS	有料	他	GH	特養	SS	有料	他
A型	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0
B型	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
計	1	0	0	0	0	1	4	0	0	0

※GH(グループホーム) SS(短期入所)

<その他>

ノロウイルス等、その他の感染症発生なし。

汚物処理方法の統一や日頃の標準的予防策の励行により、感染予防への意識が浸透、感染予防の徹底が図られている。

<まとめ>

感染対策として、今年度はインフルエンザが全国的にも拡大があり、県内においても全域の警報レベルが続いた。施設として、各エリアの消毒・予防用の設備を見直し、噴霧器による常時消毒や、加湿器における湿度管理など、結果から非常に効果があったと考えている。また訪問来客者への注意喚起として、警報情報を掲示し、面会時等のうがい手洗いを含めた施設での対応についての理解に努めることができた。

8.-3 褥瘡対策

① 褥瘡対策委員会の開催(毎月)

毎月入所・入居者の褥瘡発生予備軍を抽出し対応を検討している。

表皮剥離などステージが軽い時期に早期の対応を行うことで、重症化することなく治癒できている。また個人の肌質にあった保湿に努めながら、症状改善に至らない場合は病院受診を行っている。

8.-4 権利擁護・苦情解決

① 権利擁護苦情相談委員会の開催(随時)※平成29年10月19日(ガリラヤ荘合同)

平成29年度苦情件数 1件

「苦情内容」:介護付有料老人ホーム入居条件について。 「対応」:自宅に訪問し詳細に説明する。

8.-5 身体拘束・高齢者虐待対策

① 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(毎月)

身体拘束件数 0件 高齢者虐待件数 0件

毎月不適切ケア等の事例検討を行い、また各事業所での自己点検チェックをすることで、虐待等に繋がらない環境づくりや意識付けをすることができた。

8.-6 栄養対策

① 給食委員会の開催(毎月)

施設長、各事業所職員、多職種、委託業者が給食内容・衛生管理・栄養管理等について協議し、改善及び向上を図った。一人ひとりの身体状態や嗜好を考慮した個別対応を行い、季節感のある食材や行事食を取り入れ、利用者により一層満足していただける食事提供に努めていきたい。

8.-7 事故対策

① 安全委員会の開催(毎月)

委員会内においてヒヤリハットや事故の事例検討を行いながら、ケア方法の見直しや環境整備の配慮に努めることができた。入所・入居者の状態・状況が事業所によって異なる中、それぞれにおいて重点的に注意すべきことに変化があり、今後も事例検討を重ねながら、重大事故を未然に防げるように努めたい。

② 事故・ヒヤリハット報告

今年度について、開設後 11 月まで旧様式(事故とヒヤリハットの両方を記録)を使用している。12 月以降新様式(事故とヒヤリハットを分けて記録)へ変更しているため、集計結果を分けて報告とする。

I 月別発生件数(事業所別)

月	グループホーム	小規模特養	短期入所	介護付有料	計
5月	0	1	0	0	1
6月	3	13	0	1	17
7月	15	16	2	13	46
8月	7	11	2	4	24
9月	7	9	5	9	30
10月	6	13	9	5	33
11月	7	9	6	6	28
12月	3	2	1	2	8
1月	2	1	1	0	4
2月	0	1	0	1	2
3月	1	1	0	2	4
計(5-11月)	45	72	24	38	179
計(12-3月)	6	5	2	5	18
総計	51	77	26	43	197

※1)5月～11月(旧様式集計※ヒヤリハット含む)

※2)12月～3月(新様式集計※ヒヤリハット除く)

II 内容別発生件数

	5月-11月	12月-3月	計
転倒※1)	61	8	69
転落※2)	42	3	45
内出血	25	2	27
服薬ミス	14	2	16

他※3)	7	1	8
傷	7	0	7
対人トラブル	6	0	6
表皮剥離	5	2	7
離設	5	0	5
食事提供ミス	3	0	3
異食	3	0	3
誤嚥	1	0	1
総計	179	18	197

※1)立上りや歩行での転倒

※2)車椅子、椅子、ベッドなどからのしりもち、座り込みを含む

※3)原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む

III報告レベルの内訳

「旧様式の報告レベル」5月～11月

I	ミスをしたまたは異常なし	73	※)ヒヤリハット
II	バイタル異常及び要観察	75	
III	治療が必要だが軽度	18	
IV	受診または入院加療が必要	13	※)市事故報告
V	後遺症が残るあるいは死亡	0	
総計		179	

「新様式の報告レベル」12月～3月

I	バイタル異常・看護師の処置	9	
II	病院受診(異常なし)	5	※)市事故報告
III	病院受診(再受診必要)	2	※)市事故報告
IV	病院受診(入院加療が必要)	2	※)市事故報告
V	後遺症が残るあるいは死亡	0	
総計		18	

「新様式後のヒヤリハット件数」12月～3月

事業所別	
小規模特養	43
ショートステイ	12
グループホーム	64
介護付有料	109
総計	228

IV受診及び市事故報告提出の内訳

事業所	内容	受診	市報告	
グループホーム	転倒 7/2	7/3	10/19	杖歩行転倒(右足首外側打撲)
グループホーム	転倒 7/5	7/5	10/19	独歩転倒(腰打撲)
小規模特養	転倒 7/21	8/12	8/12	トイレ転倒(圧迫骨折)入院
グループホーム	転落 7/28	7/29	10/19	椅子転落(左手首打撲)
介護付有料	転倒 9/14	9/14.15	9/16	歩行器転倒(右膝内出血・骨折)
グループホーム	転倒 9/23	9/25	9/27	独歩転倒(左大腿骨頸部骨折)入院
グループホーム	転倒 10/31	10/31	11/2	独歩転倒(後頭部打撲)
グループホーム	転落 11/2	11/6	11/8	ベッド転落(臀部打撲)
グループホーム	転倒 11/7	11/7	11/8	歩行器転倒(後頭部・臀部打撲)
介護付有料	転倒 11/12	11/12	11/13	歩行器転倒(左臉裂傷)縫合
グループホーム	転倒 12/1	12/1	12/3	椅子転倒(右頭部打撲)
介護付有料	転倒 12/4	12/4	12/6	独歩転倒(右前頭部・右腰打撲)
介護付有料	転倒 12/16	12/16	12/18	独歩転倒(右後頭部皮下血腫)
小規模特養	転落 12/26	12/27	12/30	ベッド転落(両膝痛)
グループホーム	服薬 1/9	-	1/10	誤薬(異常なし)
グループホーム	服薬 1/22	-	1/24	誤薬(異常なし)
介護付有料	転倒 2/12	2/12	2/15	独歩転倒(右大腿骨転子部骨折)入院
介護付有料	転倒 3/17	3/19	3/19	独歩転倒(右顔面・右腰打撲)
グループホーム	転落 3/21	3/21	3/23	ベッド転落(左側頭部打撲)
介護付有料	転倒 3/25	3/26	3/26	歩行器転倒(額部打撲・表皮剥離)

※)管轄の松山市については、介護事故報告は受診したものの全てについて提出指示

様式 1.2 号⇒経過報告が必要な事案(予後等)

様式 3 号⇒経過報告が不必要な事案(異常なし)

	受診件数	市報告件数
グループホーム	9	11
小規模特養	2	2
介護付有料	7	7
総計	18	20

(考察)

事故件数として、市事故報告を提出したものとして 31 件(全事業所)となる。特に、転倒転落による骨折が発生しており、ケアの見直し及び安全管理が課題となった。また介護付有料及びグループホームにおいては徘徊による離脱も発生しており、認知症状の悪化を予防できる知識・技術の向上を目指したい。今後入居者の重度化を想定したうえで、ヒヤリハット記録の活用を徹底し重大事故を未然に防ぐことができるよう努めたい。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	行事等	施設内研修	実習等受入
4	入職式 開設準備		
5	建物引渡し(5/1) 設備等説明会(5/9) 内覧会(5/18～21) 落成式(5/23) 入居受入開始(5/25～) 町内清掃(久米地区) 〔GH〕杜の里バザー外出	口腔ケア勉強会(たかのご歯科) メンタルヘルス(こころ塾)	
6		トータルケア勉強会(泉田氏)	河原医療オープンキャンパス見学受入
7	SS 受入開始(7/15～) 〔GH〕ハタお菓子館外出 〔全体〕ふれあい広場盆踊り大会 建物総合点検(7/19)		
8	〔全体〕三津浜花火鑑賞 〔有〕しあわせの集い外出 〔全〕そうめん流し 〔DS〕夏祭り 職員会		ハローワーク施設見学受入 県社協施設見学受入
9	〔有〕ショッピング外出 〔全〕森松観月祭花火鑑賞 〔全〕なかよし村ちいさなお店 〔有〕敬老会 〔GH〕コスモドライブ(見奈良) 〔有〕コスモドライブ(見奈良) 総合避難訓練 〔全体〕航空自衛隊展示飛行鑑賞 運営推進会議	トータルケア勉強会(泉田氏) 介護職医行為フォローアップ 基礎介護勉強会(食事)	
10	秋祭り(神輿・獅子舞)訪問 実施指導 〔有〕ショッピング外出 〔GH〕運動会 〔有〕紅葉ドライブ(奥道後) 職員互助会合同親睦会	看取り勉強会	
11	運営推進会議 〔GH〕紅葉ドライブ 〔有〕砥部焼絵付け 〔有〕菊見物外出(はばたき園)	感染症勉強会 基礎介護勉強会(認知症)	久米中学校職場体験受入

	[全]ガリラヤ荘感謝祭参 職員会議 Google ストリートビュー館内撮影		
12	[全]クリスマス会 [全]忘年会 シェイクアウトえひめ(避難訓練・通報 訓練等) [全]餅つき	基礎介護勉強会(排泄)	
1	[全]新年会 [有]初詣外出(椿神社) [有]ショッピング外出 運営推進会議	拘束虐待防止勉強会	聖カタリナ大学施設見学受入 民生委員(石井東地区)施設見学
2	[全]節分豆まき あさひ緑健広報取材 [全]なかよし村ちいさなお店 [有]梅見物外出(七折)	基礎介護勉強会(移乗)	
3	[有]菜の花外出(見奈良) [有]愛隣こども園交流会 [GH]花見外出 運営推進会議 職員会	トータルケア勉強会(泉田氏) 口腔ケア勉強会 リスクマネジメント勉強会	
他	通年		委員会活動
	各事業所での誕生日会(昼食会) 各事業所でのイベント食(昼食会) おやつ・お茶の時間 訪問理容 訪問マッサージ 訪問歯科診療 医師の回診 嘱託医 2名 訪問販売(とくし丸、パン)		運営委員会 安全(事故防止)委員会 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 入所判定委員会
	ボランティア・他		
	[不定期・随時] アロマセラピー 大衆演劇子役 カラオケ・バルーンアート フラメンコ・革細工 ハーモニカ・オカリナ アイリッシュハーブ	[定期] 読み聞かせ シャンソン 絵手紙	[団体] ・どれみ保育園 ・かざぐるま ・第一興商 ・コミュサポひかり ・トリオ G&B ・ECA 音楽事務所 ・たんぽぽクリニック

10.施設外研修の状況

研修項目	全体		GH		小規模特養/SS		介護付有料	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護			5	7	8	15	1	1
看護・保健・医療			2	3	1	1	1	1
防災・防犯	3	3						
人材育成・マネジメント	2	2	2	2	3	5	2	2
専門（スキル向上・資格等）			4	5	5	5		
行政（介護保険・制度他）	5	6	1	1	1	1	1	1
財務会計								
人事・労務管理								
他								
小計	10	11	14	18	18	27	5	5

研修項目	デイサービス		居宅介護支援		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数計	人数計
介護			3	5	17	28
看護・保健・医療			2	3	6	8
防災・防犯					3	3
人材育成・マネジメント	1	1	2	3	12	15
専門（スキル向上・資格等）	2	2	2	3	13	15
行政（介護保険・制度他）	2	2	1	1	11	12
財務会計					0	0
人事・労務管理					0	0
他			2	3	2	3
小計	5	5	12	18	64	84

11.職員の状況

部門等	前年度末	平成29年度当初				平成29年度中の状況			平成29年度末	常勤換算 (年度末雇用契約)
		退職 (29.3.3付)	入職 (29.4.1付)	異動 (29.4.1付)	職員計	入職	異動	退職		
グループホーム	-	-	13	1	14	1	0	0	15	12.9
特養/短期	-	-	22	9	31	8	0	-5	34	28.3
（介護職）	-	-	15	5	20	3	0	-3	20	18.7
（看護職）	-	-	1	2	3	0	0	-1	2	2.9
（その他）	-	-	6	2	8	5	0	-1	12	6.7
介護付有料	-	-	13	2	15	2	0	-3	14	12.8
（介護職）			10	1	11	1	0	-2	10	9.6
（看護職）			2	0	2	1	0	-1	2	1.9
（その他）			1	1	2	0	0	0	2	1.3
デイサービス	-	-	4	2	6	2	0	-3	5	4.9
居宅	-	-	1	1	2	0	0	0	2	2
計	-	-	53	15	68	13	0	-11	70	60.9

※) 医師等嘱託契約者の数は上記に含めず

【医師2名、歯科衛生士1名、作業療法士2名(デイ/特養/介護付有料)】

12.サービス別 利用状況一覧

小規模特別養護老人ホーム			定員29名・3ユニット（ユニット定員10名（1ユニットのみ9名））											
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	0	7	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	311	
総計	平均介護度	0.00	3.70	3.70	3.80	3.90	4.00	3.90	4.00	3.90	4.00	3.90	3.90	3.88
	延べ利用人数	0	23	379	734	725	805	836	829	853	851	804	869	7,708
	平均利用人数/1日	#DIV/0!	3.29	12.63	23.68	23.39	26.83	26.97	27.63	27.52	27.45	28.71	28.03	25.3
	稼働率	#DIV/0!	11.3%	43.6%	81.6%	80.6%	92.5%	93.0%	95.3%	94.9%	94.7%	99.0%	96.7%	87.19%

ショートステイ			定員10名・1ユニット（ユニット定員10名）											
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	0	0	0	31	31	30	31	30	31	31	28	31	274	
要介護	利用実人数	0	0	0	6	16	18	20	20	21	20	19	21	134
	利用延べ人数計	0	0	0	62	233	216	207	259	277	265	228	215	1,962
	平均介護度	0.00	0.00	0.00	1.90	2.70	2.80	3.10	3.50	3.60	3.70	3.50	3.40	2.82
	平均利用人数/1日	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	2.00	7.52	7.20	6.68	8.63	8.94	8.55	8.14	6.94	7.18
要支援	利用実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0.33
	利用延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	2	11
	平均介護度	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.40
	平均利用人数/1日	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.11	0.06	0.04
総計	平均介護度	0.00	0.00	0.00	1.90	2.70	2.80	3.10	3.50	3.60	3.60	3.50	3.40	2.81
	延べ利用人数	0	0	0	62	233	216	207	259	280	268	231	217	1,973
	平均利用人数/1日	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	2.00	7.52	7.20	6.68	8.63	9.03	8.65	8.25	7.00	7.2
	稼働率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	20.0%	75.2%	72.0%	66.8%	86.3%	90.3%	86.5%	82.5%	70.0%	72.17%

グループホーム			定員18名・2ユニット（ユニット定員9名）											
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	0	7	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	311	
総計	平均介護度	0.00	1.40	1.70	1.90	1.90	1.80	1.80	1.90	1.80	1.90	2.10	1.90	1.83
	延べ利用人数	0	17	331	537	510	521	527	499	525	530	477	540	5,014
	平均利用人数/1日	#DIV/0!	2.43	11.03	17.32	16.45	17.37	17.00	16.63	16.94	17.10	17.04	17.42	16.4
	稼働率	#DIV/0!	13.5%	61.3%	96.2%	91.4%	96.5%	94.4%	92.4%	94.1%	95.0%	94.6%	96.8%	91.27%

介護付有料老人ホーム			定員35名・30室（うち2人部屋5室）											
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	0	7	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	311	
総計	平均介護度	0.00	2.50	1.60	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.10	1.23	
	延べ利用人数	0	17	293	609	776	867	875	842	875	976	863	930	7,923
	平均利用人数/1日	#DIV/0!	2.43	9.77	19.65	25.03	28.90	28.23	28.07	28.23	31.48	30.82	30.00	26.02
	稼働率	#DIV/0!	6.9%	27.9%	56.1%	71.5%	82.6%	80.6%	80.2%	80.6%	90.0%	88.1%	85.7%	73.07%

デイサービス		利用定員15名												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数		0	0	26	26	27	26	26	26	27	24	27	261	
要介護	利用実人数	0	0	4	8	13	17	18	22	23	24	24	15	
	利用延べ人数	0	0	26	47	95	131	160	177	185	189	194	1,436	
	平均介護度	0.00	0.00	2.10	1.90	2.10	2.20	2.50	2.50	2.30	2.20	2.20	2.22	
	平均利用人数/1日	#DIV/0!	#DIV/0!	1.00	1.81	3.52	5.04	6.15	6.81	7.12	7.00	8.08	8.59	5.51
要支援	利用実人数	0	0	6	12	15	15	15	15	13	14	19	118	
	利用延べ人数	0	0	30	49	71	63	61	68	58	62	73	618	
	平均介護度	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
	平均利用人数/1日	#DIV/0!	#DIV/0!	1.15	1.88	2.63	2.42	2.35	2.62	2.23	2.30	3.04	3.07	2.37
総計	平均介護度	0.0	0.00	1.20	1.10	1.30	1.60	1.90	1.90	1.90	1.80	1.70	1.61	
	利用延べ人数	0	0	56	96	166	194	221	245	243	251	267	2,054	
	平均利用人数/1日	#DIV/0!	#DIV/0!	2.15	3.69	6.15	7.46	8.50	9.42	9.35	9.30	11.13	11.67	7.88
	稼働率	#DIV/0!	#DIV/0!	14.4%	24.6%	41.0%	49.7%	56.7%	62.8%	62.3%	62.0%	74.2%	77.8%	52.54%

居宅介護支援事業所													
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
介護支援専門員数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
要介護	介護 利用人数	0	0	4	5	10	13	13	14	15	16	17	12.4
	介護 稼働率	0.0%	0.0%	5.7%	7.1%	14.3%	18.6%	18.6%	20.0%	21.4%	22.9%	24.3%	17.7%
要支援	予防 利用人数	0	0	1	5	6	5	6	7	9	8	12	7.3
	予防 稼働率	0.0%	0.0%	6.3%	31.3%	37.5%	31.3%	37.5%	43.8%	56.3%	50.0%	75.0%	45.63%
総計	介護+予防 利用人数	0	0	5	10	16	18	19	21	24	24	29	16.4
	介護+予防 稼働率	0.0%	0.0%	5.8%	11.6%	18.6%	20.9%	22.1%	24.4%	27.9%	27.9%	33.7%	19.09%
新規利用人数		0	0	5	4	4	6	5	2	2	1	7	3.1
訪問調査件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
営業訪問先		0	0	16	23	4	4	3	3	5	5	6	6.2